

3 月 2 8 日 (第 6 号)

平成25年第2回豊能町議会定例会会議録目次

平成25年3月28日（第6号）

出席議員	1
議事日程	2
開議の宣告	4
（質疑・討論・採決）	4
第20号議案 平成25年度豊能町一般会計予算の件	
第21号議案 平成25年度豊能町国民健康保険特別会計事業勘定予算の件	
第22号議案 平成25年度豊能町国民健康保険特別会計診療所施設勘定予算の件	
第23号議案 平成25年度豊能町後期高齢者医療特別会計予算の件	
第24号議案 平成25年度豊能町介護保険特別会計事業勘定予算の件	
第25号議案 平成25年度豊能町下水道事業特別会計予算の件	
第26号議案 平成25年度豊能町生活排水処理事業特別会計予算の件	
第27号議案 平成25年度豊能町水道事業会計予算の件	
（提案理由説明・質疑・討論・採決）	
第1号議会議案 第20号議案平成25年度豊能町一般会計 予算の件に対する付帯決議	24
第32号議案 豊能町教育委員会委員の任命につき同意を 求めることについて	33
第33号議案 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求	

	めることについて……………	3 5
第 3 4 号議案	豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求 めることについて……………	3 6
第 3 5 号議案	豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求 めることについて……………	3 6
第 2 8 号議案	工事請負契約の締結について……………	3 7
第 2 9 号議案	平成 2 4 年度豊能町一般会計補正予算の件……………	3 8
第 3 0 号議案	平成 2 4 年度豊能町水道事業会計補正予算の 件……………	4 2
延 会 の 宣 告	……………	4 5

平成25年第2回豊能町議会定例会会議録（第6号）

年 月 日 平成25年3月28日（木）

場 所 豊能町役場議場

出席議員 14名

1番	橋本 謙司	2番	井川 佳子
3番	高橋 充徳	4番	岩城 重義
5番	小寺 正人	6番	山下 忠志
7番	永並 啓	8番	竹谷 勝
9番	福岡 邦彬	10番	秋元美智子
11番	平井 政義	12番	高尾 靖子
13番	西岡 義克	14番	川上 勲

欠席議員 0名

地方自治法第121条の規定により、議会に出席を求めた者は、次のとおりである。

町 長	田中 龍一	総務部長	乾 晃夫
教 育 長	小川 照夫	建設環境部長	川上 和博
生活福祉部長	上林 勲	教 育 次 長	桑田 良彦
上下水道部長	高 秀雄	会 計 管 理 者	上西 悦子
消 防 長	西本 好美		

本会議に職務のため出席した者は、次のとおりである。

議会事務局長	乾 利昭	書 記	杉田 庄司
書 記	高橋 欣也		

議事日程

平成25年3月28日(木) 午前9時30分開議

- | | | |
|--------|---------|---------------------------------|
| 日程第 1 | 第20号議案 | 平成25年度豊能町一般会計予算の件 |
| | 第21号議案 | 平成25年度豊能町国民健康保険特別会計事業勘定予算の件 |
| | 第22号議案 | 平成25年度豊能町国民健康保険特別会計診療所施設勘定予算の件 |
| | 第23号議案 | 平成25年度豊能町後期高齢者医療特別会計予算の件 |
| | 第24号議案 | 平成25年度豊能町介護保険特別会計事業勘定予算の件 |
| | 第25号議案 | 平成25年度豊能町下水道事業特別会計予算の件 |
| | 第26号議案 | 平成25年度豊能町生活排水処理事業特別会計予算の件 |
| | 第27号議案 | 平成25年度豊能町水道事業会計予算の件 |
| 追加日程第1 | 第1号議会議案 | 第20号議案平成25年度豊能町一般会計予算の件に対する付帯決議 |
| 日程第 2 | 第28号議案 | 工事請負契約の締結について |
| 日程第 3 | 第29号議案 | 平成24年度豊能町一般会計補正予算の件 |
| 日程第 4 | 第30号議案 | 平成24年度豊能町水道事業会計補正予算の件 |
| 日程第 5 | 第31号議案 | 副町長の選任につき同意を求めることについて |
| 日程第 6 | 第32号議案 | 豊能町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 日程第 7 | 第33号議案 | 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて |
| 日程第 8 | 第34号議案 | 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて |
| 日程第 9 | 第35号議案 | 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求 |

めることについて

日程第10 第36号議案 豊能町特別職の職員の給与に関する条例改正
の件

開議 午前9時31分

○議長（福岡邦彬君）

皆様、おはようございます。

ただいまの出席議員は14名であります。
定足数に達しておりますので、これより
本日の会議を開きます。

この際、暫時休憩いたします。

再開は放送をもってお知らせいたします。

（午前 9時32分 休憩）

（午前10時00分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおり
でございます。

日程第1、第20号議案から第27号議
案までを議題とし、3月22日の議事を続
けます。

これより、予算特別委員会委員長報告に
対する質疑を行います。

審議がスムーズに行われるということと、
委員会の意思の安定という原則があります
ので、当該委員会所属の委員各位の質疑は
差し控えていただきますようお願い申し
上げます。

第20号議案から第27号議案までの8
件に対する質疑を行います。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

7番・永並啓です。

まず第20号議案、平成25年度豊能町
一般会計予算に関する質疑をさせていただきます。

まずこの予算というものは町長にとって
初めての予算となるわけですが、今までと
異なり、どういった点に力を入れたのか。
どういった改革をした結果がこの予算に反
映されているのかなどの考えというか、説
明があったのかお聞かせください。

それと、ここからは総括質疑でも聞いて
いることなんですが、まず吉川支所庁舎管
理事業ですが、雨漏りがひどいというこ
とは聞いているんですが、今回の予算は雨漏
りを修繕するための予算ではなく耐震化の
予算であります。耐震化であれば、まだ豊
能町には耐震化されていない、吉川小学
校であったり、ここの本庁であったりある
わけですが、そういったところの耐震化は
どうするのかということですよ。

また、それを考えるに当たっては、やは
り豊能町の箱物、建物の全体の計画が必要
だと思いますが、そういった点は示された
のかお聞かせください。

それと、町長は選挙において庁舎一元化
というか、箱物をつくるということを否定
されておりました。しかし耐震化の結果次
第では支所を建てかえるというようなこと
を言われております。この点について町長
から説明があったのかお聞かせください。

続きまして医療費助成ですけども、豊能
町における乳幼児等医療費助成は小学生の
入院助成までです。通院は含まれておりま
せん。小学生の通院助成をする前に入院助
成を中学生まで拡大するというようになって
います。小学生の通院助成というものを
しない理由は説明されたのかお聞かせくだ
さい。それと今後、小学生の通院助成をす
る予定があるのかお聞かせください。

それと、この点は総括質疑ではありません
でしたが、残念ながら日本というものは、
今、いじめや体罰の問題が非常に頻繁にと
うか、世間を賑わせております。我々も
真剣に取り組まなければいけません。豊能
町でも実際に2件の体罰があったことがわ
かりました。ということは、従来の取り組
みだけでは撲滅というものは困難と考えま
すが、何か新しい取り組み、子どもの命を
守るんだというような何か新しい取り組み

を予算にどこか反映されてたらお聞かせください。

それと、今さらという感じが大きいイメージキャラクター創作事業ですが、私は川西能勢口駅の豊能町のPR看板をつくるときにも言いましたけど、情報発信というものは発信するものを決めてから、それに合った発信をしないといけないと考えております。駅の看板を設置したときは、豊能町に定住化を促進すると言いながら、どちらかという田舎の自然の風景を載せました。では今回、イメージキャラクターを創出するに当たり豊能町の何をPRしようとしているのかお聞かせください。

それで、今回のキャラクター、キャラクターをつくるのが目的になっては困りますので、その後の具体的な展開ですね。町内だけの展開を考えているのじゃなく、町外にどのようにPRをしていくのかを、質疑がありましたらお聞かせください。

あと、着ぐるみを作成する費用というのは、一体予算的には幾らぐらいかかっているのかというのもお聞かせください。

続きまして、あと、有休不動産鑑定事業ですけど、これは総括質疑でも質疑しましたけども、どこの不動産を鑑定して売却しようと考えているのか、予算審査の中で説明があったらお聞かせください。

あともう1点はユーベルホールの大規模改修の予算と、そこには専属の館長を置く予算が組まれています。やはり総括質疑でも文化の方針を立ててくださいと、それで町長は検討しますという答弁はいただきましたけど、これから文化をどのように発信させて、どういった文化を豊能町に根づかせていくのかというような方針が示されたのかどうかお聞きしたいと思います。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

多岐にわたりますので、岩城重義委員長、一つ一つ項目を分けて御答弁をお願いいたします。

岩城重義予算特別委員会委員長。

○予算特別委員会委員長（岩城重義君）

永並議員にお答えをいたします。

まず最初の質疑ですけども、予算のことにつきましては、そういう方向性とかにつきましては、そういう発言はございませんでした。

それと、支所につきましては、ほかの建物の耐震化という質疑でございましたけども、そういう質疑はございませんでした。

（発言する者あり）

この予算につきましてはいろいろ質疑ございましたけども、例えばプレハブという例もありましたけども、イメージとしては保健センター横の建物のようなものを考えているという、一時そういう発言、答弁もありましたけども、最終的には耐震というのは現状の建物を補強する場合の算定と、建てかえは耐震基準を満たした新たな建物に建てかえる場合について算定する予算であると答弁をいただきました。

乳幼児等通院助成の件ですけども、そのような質疑はなかったと思っております。

次に、イメージキャラクターの件ですけども、順番は変わりますけども、着ぐるみの作成費は約60万円、1体60万円ということであります。それと、何を売り出すかということは特段考えておらなく、豊能町全体をアピールするためにこの予算を立てたという説明でございました。

次は、体罰の問題ですけども、体罰問題の予算化はされているのかという、その委員会の中で質疑がございましたけども、職員の研修、またスクールソーシャルワーカー活用事業として年間80日分を、要望する学校に派遣する、また総合相談事業とし

て西公民館で元校長による電話相談等、また生徒相談員、週4回程度職員を派遣、家庭教育支援員として家庭と学校の連絡調整をしている予算を上げているということでございました。

次に、不動産鑑定の前件ですけども、どこをするのかとかいう具体的な提示はございませんでした。

次に、ユーベルホールの館長の件ですけども、館長の予算は上がっておりましたけども、その方向性につきましては具体的にこれに特化するかというような質疑はありましたけども、答弁はございませんでした。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

済みません、多岐にわたりまして委員長を困らせておまして、済みません。

やはり初めての町長にとっての予算ですから、こういったところに力を入れたんだと、私の色はこうなんだと、ここを改革しましたということを示してもらいたかったかなとは思っています。

まず、やはり庁舎の管理ということは、そこの箱物の全体計画というものはないのか、今後もつくる予定はないのかということも全く説明がなかったのか、再度お聞かせください。

あと、建てかえるとなると若干公約と整合性がとれないのかなという感じは受けませんが、そこの説明もなかったのか、もう一度だけお答えください。

やはりいじめや体罰に関しては、今、委員長が説明されたことは多分従来の方法の徹底するというような感じだと思うんですが、やはり豊能町でもその結果2件の体罰というものが判明したわけですから、やは

り命を守ることに繋がりますから、そこは豊能町としてはこういったものに力を入れるということは欲しかったなというふうに感じます。

あと不動産鑑定ですけども、数年前に東ときわ台の住宅地、これを鑑定して売ったのはわかるんですが、鑑定する場所というのはいろいろ、私も聞きに行きましたら、ときわ台の駅前の社協の跡とデイリーカーナート横の消防のところ、それとあとは余野と高山の教員住宅と聞きました。やはりこの豊能町というのは何かするにおいても豊能町の土地ってほとんどないんですよ。やはり駅前、ときわ台の社協の跡地もデイリーカーナートの横も駅前のすごい一等地にありますよね、豊能町にとっては。やはりそこはすぐに売るんじゃなくて、何か情報発信のときに活用できる、活用する方法があると思うんですよ。

また、3. 11の震災以降、防災に対する意識というものが非常に全国的に強まっています。やはり今後各自治会単位において備蓄倉庫という考えが非常に重要になってくると思うんですね。それで、もし売ってしまうと、使いたいときに全く使えない。またどこかの場所を借りないといけない。そういった二度手間、余計にコストがかかることになりますので、そういった点は、売ったとしても多分豊能町の土地って大阪市みたいに何億するわけじゃなく、多分いって数千万円、下手したら数百万円レベルですから、やはり売らずに残しておいたほうがいいかなと思うんですが、この点に関しては全く議論されてないということなので、やはり総括質疑であったことはちょっと触れていただきたいなとは思っています。

あと、ユーベルホールですけども、ユーベルホールってつくって20年経過するんですね。ただユーベルホールというのは多

くの自治体にある多目的ホールとしてつくられたこともあって、このホールを生かして住民にどういった文化を根づかせよう、子どもたちにどういった文化を感じてもらおうという豊能町の行政の姿勢というものが全くなかったんですね。その結果20年が経過するにもかかわらず、行政もユーベルホールの存在意義を見い出せなかったために財政再建案に載ってくる、こういった現状なんです。本来であったら文化ホール、つくったら、もう20年も経過してるんですから、もう地域に固定された、当たり前のようにあるよ、何かあったらユーベルホールだと、なくすなんてあり得ないというぐらい定着しないといけないかなと思うんですよ。やはりそういったところ、今回、新たに大規模改修の予算を組まれるのであれば、そういった方針を出してから、その方針に見合ったことをしていかないと、また結局時間がたつとまた改修しないといけない。存続、廃館。そういった議論が出てきてしまうのかなというふうに思います。やはりそういったところの突っ込んだ質疑がもしあったのであれば、再度お聞かせください。

あとイメージキャラクターですけども、着ぐるみ1体60万円で120万円ですね。豊能町財政難ですよ。それもまた、ひこにゃんに続いてつくるとか、全国で2例目とかならわかるんですよ。全国でうじゃうじゃゆるキャラがいてしょうがない。もうあふれてあふれて、どれがどのゆるキャラかわからないというような中で今さらつくるわけですから、だからそういったところも他市町村と同じように業者に依頼するんじゃなくて、例えば制作を住民レベルでつくってもらうとか・・・

○議長（福岡邦彬君）

永並議員、申しわけないけど質疑をお願い

いたします。

○7番（永並 啓君）

そういうのが聞かれてたらということなんですけど、そういったところはなかったのかということをお聞かせください。

それとあと、豊能町の全体をPRするということですけども、やはりその具体的な目的というものを決めないとうまく発信できないかと思うんですが、そこら辺の議論というものはなかったのかお聞かせください。

以上で。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

岩城重義予算特別委員会委員長。

○予算特別委員会委員長（岩城重義君）

まずキャラクターの件ですけども、委員会で質疑があったのは、例えば、この前の22日にも報告しましたけども、絞ってそのキャラクターの募集をするべきではないかという質疑はあったんですけども、そのときは、町から情報を知らせると、応募される方の発想が固定化されてしまうので、それは考えていない。また応募の際にはデザイナーなどもよく見るサイトに発信し、町のことをみずから調べてもらってから応募してもらうことを考えている。候補を10候補程度に絞って、町報につけた投票券で投票してもらうことにより決定するという答弁でございました。

そのほかには、今、永並議員がおっしゃいました、キャラクターとしても今さらという感じがある、必要かという質疑がございまして、その答弁といたしましては、ぜひつくりたい。住民も一緒に考えてもらい一体感を持つ。投票率も100%にしたいという答弁がございました。

もう一つ、永並議員の質疑の中身ですけども、何が活性するのかという質疑もござ

いまして、二つの面で活性化されます。一つはつくる過程において活性化し、制作後は町内外で活用することにより活性化するとの答弁でございます。永並議員おっしゃるようなその方向性については、豊能町全般を考えていくという答弁でございました。

次に、支所のことですが、支所につきましては先ほど答弁した、お答えしたとおりでございまして、それ以上の質疑はございませんでした。

次に、いじめの予算のことですが、先ほどお答えしたとおりでございまして、それ以上の質疑はございませんでした。

不動産鑑定費用の件ですが、これは余り委員会では上がっておりませんので、それ以上の答弁はできません。

ユーベルホールにつきましても、その方向性につきましてはの質疑は余りされておられません。

(発言する者あり)

ユーベルホールにつきましては、方向性ございました。ホールの運営方針は、ホールの活性化、住民の関心を高めるため、音楽団体等と連携し、住民の文化交流の場の提供と芸術振興を図ることを目的としているための事業を実施するとの答弁がございました。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。3回目の質疑、お願いいたします。

○7番（永並 啓君）

ゆるキャラ、イメージキャラクターですね。豊能町全体のPRということで、特に何かを知らせると発想が固定化するということですが、これコンテストで決まったら、そのキャラクターで豊能町をPRしていくことになるのかなというふうに感じるんですが、その点は質疑があったのか。

何が言いたいかといいますと、例えば野菜とか、豊能町の何か有名な野菜が前に出たキャラクターとしてなった場合に、そこに力をかけてそれを名産として豊能町はPRしていくのかということをお聞きしたいんです。やはり豊能町は、さすがにそういったものではなかなかPRにつながらないかなと思ってますので、そこをお聞かせください。

それとイメージキャラクターをつかった場合、今後の具体的な活動についても質疑がありましたらお願いいたします。

あとは、やはりどこかの段階でその庁舎管理事業というものは箱物の全体計画、町長の整合性、交えた方向性ですね。それは示していただきたいと思いますので、それはまた別の機会でしたいと思います。

あとユーベルホール、やはり建てたときと同じような抽象的な方向性しかないんですかね。そういった細かい議論が、例えばユーベルホールを、すごい専門的なクラシックを呼ぶような館にするのか、それとも住民が普通に気軽に扱えるような、照明も住民で運営してもらおうとか、そういったようなホールにしていくのかというような方向性が見出せない、改修にしても幾ら改修していいのか、そのめども立たないと思うんです。そういったところは本当に行政のほうは考えておられないのか、再度3回目ですがお聞かせください。よろしくお願いたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

岩城重義予算特別委員会委員長。

○予算特別委員会委員長（岩城重義君）

まず、ゆるキャラのことですが、質疑と内容としましては、町に来てもらうとか物を売るとかの役立てなのかという質疑がございまして、答弁といたしましては、

豊能町からも出店している千里中央の駅前のうまいもの市場に府内の各キャラクターが集まって地元の商品のPRをしている。ほかにも5月の御堂筋k a p p oのキャラクター行進や吉本興業などにも参加したいとの答弁が一つあり、また特産品にロゴを張って特産品も売りたいという答弁があり、ゆるキャラは特定の特産物のものではないという答弁がありました。

それとユーベルホールのことですけども、ユーベルホールを豊能町の文化の拠点にしたい。また住民活動で使っていただいて、この豊能町を活性化していくために使っていきたいという答弁がありました。

(発言する者あり)

全般的に言いますと、先ほど私が2回目に答弁したとおり、ホールの運営は、ホールの活性化、住民の関心を高めるため、音楽団体とか住民の文化の交流の場の提供ということを図っていくということで、特化するとかいうあれは考えておらないという答弁でございました。

以上です。

○議長(福岡邦彬君)

ほかに質疑はございますか。

(「なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

質疑を終結いたします。

永並啓議員。

○7番(永並 啓君)

第20号議案、平成25年度豊能町一般会計予算に対する修正動議があります。修正動議を提出したいと思います。

○議長(福岡邦彬君)

ただいま永並啓議員から、第20号議案に対する修正動議がございました。動議には1人以上の賛成者が必要です。永並啓議員の修正動議に賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(福岡邦彬君)

動議に所定の賛成者がおりますので、成立いたしました。

この際、暫時休憩いたします。再開は放送をもってお知らせいたします。

(午前10時27分 休憩)

(午前11時00分 再開)

○議長(福岡邦彬君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

第20号議案に対し、永並啓議員ほか1名の議員から、お手元に配付いたしました修正の動議が提出されています。この動議は所定の賛成がありますので成立いたしております。したがって、この修正案を本件とあわせて議題とし、提出者の説明を求めます。

永並啓議員。

○7番(永並 啓君)

7番・永並啓です。議長のお許しを得ましたので、修正動議を提案させていただきます。

平成25年3月28日。

豊能町議会議長、福岡邦彬様。

発議者、豊能町議会議員、永並啓、同、秋元美智子。

第20号議案、平成25年度豊能町一般会計予算に対する修正動議。

上記の動議を地方自治法第115条の2及び会議規則第17条第2項の規定により別紙の修正案を添えて提出します。

第20号議案、平成25年度豊能町一般会計予算に対する修正案。

第20号議案、平成25年度豊能町一般会計予算の一部を次のように修正する。

第1条中、61億3,700万円を61億2,749万6,000円に改める。

第1表 歳入歳出予算の一部を次のように改める。

続きまして、修正した内容について簡単

に説明させていただきます。

まず59ページをお開きください。

普通財産管理事業、これは遊休不動産の鑑定事業100万円ですが、先ほどの質疑でもちょっと触れましたが、やはり豊能町の数少ないPRをするための不動産だと考えております。やはり売ってしまうともう取り返しがつきませんので、もうちょっと慎重に考えて有効に活用できる方法を考えていきたいということで鑑定事業100万円を削減します。

同じく59ページ、町政PR事業、イメージキャラクター選定の事業ですが、PRというのはPRをする対象を決めてからPRしないと、多分なかなかうまくいかないんじゃないかなと思って削減するんですが、やはり豊能町を盛り上げるためにそのキャラクターをつくるという過程までというものは盛り上げるために必要かと思っておりますので、その予算は残しますが、その後の、例えば豊能町は財政難なわけですから、着ぐるみ、他市町村と同じように同じとこに渡すのではなくて、住民さんと連携してつくったりとか、それとかどこかの学校ですね、専門学校とかそういったところと、一からつくるところから最後までを一体でやる、こうすることによってPR効果というものはまた高まってくると思いますから、やはりそういったことを考えまして、コンテストにかかる費用だけを残し、その後の費用の分を削減します。285万2,000円を削減させていただきます。コンテストに、残る費用43万2,000円はそのまま維持したいと思っております。

続きまして61ページ、支所庁舎管理事業、これは吉川支所の耐震化診断ということですが、やはりこれ雨漏りがひどいということはわかりますが、今回の予算はあくまでも耐震化であります。耐震化であるの

であれば、やはりここ本庁もありますし、吉川小学校もあります。やはりそういった箱物、豊能町における学校含めた箱物の全体像というものをまずつくってから吉川支所を今後どうしていくのかということを考えていただきたいと思っておりますので、一度それはゼロにさせていただきます。172万2,000円をゼロにしたいと思います。

続きまして、102ページになりますね。コミュニティセンター管理事業。この高山にあるコミュニティセンターは、設立当初は平成24年に地元移管ということでつくられたものであります。それが平成24年度では地元移管できませんでした。昨年、当時の池田町長は、もし今年度中に地元移管できなければ廃館とまで言われております。しかし、平成25年度の予算では相変わらず同じような運営費、人件費を含めて計上されております。やはり町長に方向性を聞くと、年度末に指定管理をし、という方向で継続を考えておられるようです。しかし、やはり一度トップが廃館ということを決めております。やはり次に方針転換されるのであれば、最低限の予算、水道代、光熱費とかは認めますが、やはりこの人件費にかかわる部分ですね。186万円というものは削減したいと思います。これは、コミュニティセンターでいろいろな受付などをするんですが、それはやはり例えば中央公民館でやってもらうとか、いろいろ部署を越えて同じような業務をしていただく、それによって人件費というものは節約できると思っておりますので、その部分を削減させていただきます。

あと1点は138ページ、ユーベルホールの人件費事業ですね。これは200万円ぐらいですね。専属館長の予算ですね。専属館長を置いて、予算審査の中では専属館長を置いて何とか活用してもらいたい、要

は町の方針がないんですね。やはり専属の館長を置くにしても、我々の町はこういった方向で文化を発信していきたい。だからこれに適した人を呼んでくるんだ。そうしないともう方向性までその館長頼みになってしまいます。やはりそういった根本的な町の将来どうするのかというものは、やはりこちらから提示してそれに見合った人を呼んでくる、これが必要かと思っておりますので、その部分の予算を削減させていただきました。

以上で説明は終わります。よろしく賛同をいただけるとうれしいです。ありがとうございました。

○議長（福岡邦彬君）

これより修正案に対する質疑を行います。
井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

町政PR事業のことなんですけれども、コンテストまではオーケーとおっしゃって、その後は削るとおっしゃってますが、どうせコンテストをするんだったらそれを有効に生かしていこうという考えはありなんじゃないかと思うんですけど、その件についてはいかがでしょうか。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。
永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

もちろんコンテストで決まれば活用していきたい、していただきたいたいというのはありますけど、今回削減したのはあくまでもその後の予算ですね。着ぐるみ等に同じように、財政難の豊能町が財政裕福ないろいろな大きな市と同じように着ぐるみに1体60万円、120万円とかけるのではなくて、住民さんに協力してつくってもらうとか、もっと簡易なものにしていろい

ろな人が使えるようにするとか、そういったことを考えればどうかと思ってその部分を削らせていただいております。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

あくまでコンテストをしてから、それを何か形にして進めていこうというのがこの事業でありまして、やはり着ぐるみ1体60万円というのはあくまでも今の仮定でありまして、その以後はやはり安くするように理事者側にももちろん努力していただきたいと思うのです。それなので私はやっぱりコンテストをするのであればそれを活用していく予算もやっぱりつけておくべきだと思うんですけど。ごめんなさい、あと1回だけ、最後。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。
永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

提案理由の説明でも申しましたように、やはりPRというものは何をPRするかというのは非常に重要です。ただ私が今回その費用を残したのは、豊能町の魅力を知ってもらうために豊能町を盛り上げるという1点のみであります。だからコンテストまではオーケーにしています。ただその後の展開ですね。具体的な展開というものは余り提示されてませんでしたし、どうしても予算審査の説明を聞いてもつくるのが目的になってしまうような感じもしましたので、やはりそこら辺は削減してもう一度考え直すほうがいいんじゃないかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

着ぐるみつくってそれが幾らというのは、今ちょっと、予算は60万円ですけど、それはできるだけ安くしていただきたいんですけど、それをつくったときに町内や町外、例えば全国ゆるキャラコンテストにも出たいという意欲的なお考えを聞かせていただいていたんですけども、やはりコンテストつくったら形にして売り出そうというのが一つの予算だと思うんですけど。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

私が問題にしているのは売り出し方法です。60万円というのはいろいろ聞くと安いほうで60万円です。ほかのところだともっと高く言われているというふうに聞いてます。ですからもう一度その部分というのは、もっと協働のまちづくりということがうたわれているわけですから、そういった部分を実現することが可能じゃないかなと。ゆるキャラコンテストいろいろありますけども、そういうふうに活用したいというのはわかりますけども、先に何を売るのか、豊能町の何を売るのかというのを決めてからということにそれはなるんじゃないかなと思います。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

私は138ページのホール運営費の館長の件ですが、永並議員も以前から館長の必要性を訴えてこられた一人だと思うんですが、その辺の精査はいかがでございましょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

そのとおりであります。やはり豊能町の文化というものはやはり真剣に考えていかなければいけない。そのために専属の館長は必要であると考えておりますが、やはりそのためには根本的に豊能町の文化をどのように発信していくんだという文化の方針、確固たる方針というものを出してからそれに見合った館長を呼ばないと、どうしても今の行政側の答弁を聞いていると、全て住民任せ、全てその人任せ、それから考えようというような感じに見受けられてしまいます。やはりその方針というものをしっかりつくった上で、それに適した人というものがいるはずなので、そのために専属の館長の予算を削らせていただいております。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

方向性を決めて館長選ぶいうのも一つの方法だと思いますけども、大きな知識を持っておられる館長、まずは豊能町が持っている財産、このユーベルホールを維持管理して、していくいう方向性が出ておりますので、それに基づいて館長選ばれて有用性があると私は考えておりますが、いかがでございましょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

多分その方向で20年来たんだと思います。それが今の結果だと思います。昨年度においては25項目の財政再建の中ではユーベルホールの休館・廃館ということが行政側から出てくるんです。行政の中でそのユーベルホールの存在意義というものがかなり低いところにある、お荷物という意識があります。やはり私は必要だと思います

が、それは今後そういったことを進めていくのであれば、これから豊能町はこういったふうに文化を発信していくんだということを決めてから、それに見合ったスペシャリストを雇ってこない限りはこれまでと一緒のような結果になると思いますので、今の段階での専属の館長の予算は削減させていただきます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

館長の知識によって変わります。また今まで20年やってきたから館長を置いてと、同じ館長ではございませんので、館長の采配にも大きく変わってくると思いますので、その辺はいかがでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

たしかユーベルホールはほとんど専属の館長がいた時期のほうが多いはずですが、20年の中で。しかしこういった現状になっています。それはなぜか。やはり何でも館長じゃだめなんですね。それに見合ったスペシャリストの館長を呼んでこなければやはり同じような展開になると思いますので削減させていただいた次第です。御理解よろしくをお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

高橋です。支所の事業の件なんです、永並議員、この事業費について削減するというふうにおっしゃいましたけれども、確かにほかの面も検討しないといけない場所もありますけれども、当支所はやはり、今行ってわかるように、一目で見てわかる

んですが、かなり腐敗が進んでいる状況、雨漏りだけでないというふうに思ってますが、かなり腐敗が進んでるんですが、永並議員はそこを見たことがあるかどうか確認したいと思いますが、どうでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

その雨漏りは存じております。ただ、もしそれをするのであれば、今回は雨漏りの修繕の予算じゃありません。耐震化を含めた予算であります。そして町長は答弁の中で建てかえる可能性にも踏み込んでおられます。建てかえるということになると、やはりその吉川支所を今後どのようなふうにご利用していくのか。豊能町にはまだまだ建物というのはいろいろあります。その計画を立ててからということで、一旦はゼロにしますけど、その豊能町全体の箱物の活用方法ですね。多分いずれ小学校の統廃合というものを検討していかないといけない。そういったところも僕は活用できると思っています。そこは耐震化もされてます。そこに本庁をほうり込むこともできる可能性もあります。そういった全体計画を立てた上でこういった吉川支所を今後も活用するんだということであればいいんですが、そこを示してからということなので、一旦は削減させていただいた次第です。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

吉川支所については、防災・減災から見るとかなり本当に耐震化率、するかしんないかというのはこれはわかりませんが、確かにほかの面も箱物いっぱいあるでしょう。あるけれども、当支所の本当の命の危険から考えると、やはりするかしんないかの

検討のお金でありますので、これはやっぱり一応検討する段階では予算つけて確認したほうがいいと思うんですが、もう一回永並さんのお考えをお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

それはとてもよくわかります。だから僕は全体のを考えてからということですよ。ここに例えば本庁、本庁もしないといけないですね。吉川小学校もまだなんです。なぜそっちよりもということになるんです。やはりその全体を含めて考えて吉川支所もその中で検討しますならわかるんですが、そっちが入ってませんので、一旦はゼロにして、全体を考えてくださいということでゼロにさせていただいております。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより第20号議案から第27号議案及び修正案に対する討論を行います。

高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

日本共産党の高尾靖子でございます。

2013年度、平成25年度豊能町一般会計予算案等に対する討論を行います。

今回の予算は田中町長のもとで初めての予算であり、町長がこれから町政をどう運営していくのか、町民へのメッセージです。豊能町を変えて暮らしをよくしてほしいと願った町民は期待を込めて見守っているはずですよ。平成25年度の町政運営方針では四つの目標として、1、住民サービスの徹底、2、経費の削減、3、歳入の増加、4、働きやすい効率的な職場の実現を掲げてい

ます。国の平成25年度予算の地方交付税は大幅に削減されることになっているもとので、私がこれまで要望に上げてきた子どもの医療費助成の拡充、入院で中学校卒業まで拡充したこと、またユーベルホールの存続の方針、エスカレーター更新基本計画、また妊婦健診等、予防接種の公費負担等は評価できるものです。

しかし幾つかの点で納得できない予算や計画があります。田中町長は平成25年度町政運営方針を示されましたが、新町長として今後の財政推計などの説明がなかったこと、町の今後の存亡にかかわる問題です。

これまで指摘してきた同和行政では、大阪府人権協会負担金などの人権行政予算で、名称が大阪府人権啓発・人材養成事業負担金と変更し、人権に名を変えて民間の人権相談事業等、同和行政に新年度予算で約2,400万円予算化しています。2011年度の町民へのパブリックコメントにも納得いく回答がありませんでした。2003年、国が同和対策事業を終結しているにもかかわらず、豊能町同和行政は終結に至っていません。

エスカレーター更新方針に異論はありませんけれども、更新時期は、耐用年数は平成27年度まで、メンテナンスは平成31年度末まで可能となっているもとので、検討会を再開し料金問題など、また更新の時期など検討会で検討する余地はあるのでしょうか。

高山のコミュニティセンター、右近の郷は、都市と農村の交流の拠点と方針で位置づけているのであれば、当所の右近生誕地としてのまちづくり、農業振興、地産地消を生かした、指定管理者ではなく町が誇りを持って管理すべきです。

ダイオキシン処理については、保管地から搬出の際、安全に努め、自治会の理解を

得て適切な処理を図ることです。

防災・減災では、公共施設の耐震化を図ることです。吉川小学校、町の施設、住民の避難場所として早期に整備されなければなりません。東日本大震災の教訓を生かすべきであります。地域コミュニティ、自主防災組織の強化が大きな減災効果になっています。1年の活動が見通せるよう通年で予算を計上すべきです。

中学校給食導入については、検討を重ねた上でデリバリー方式、民間委託方式に決定されました。学校教育の一環としての給食や食育教育、地産地消など、現行行政水準を後退することがないように、さらに前進するための検討をしていただくよう要望しておきます。

国民健康保険についてです。経済の悪化が続き、非正規雇用、給料の減額等の影響で保険料滞納の増加で、平成25年1月末現在で資格証明発行11件、短期保険証交付者は81件、平成23年度の保険料不納欠損は約616万円、収入未済額は6,776万円、大半は経済的理由です。生活実態に合わない保険料を課しているのです。国が本来出すべき国庫支出金の負担割合を1984年度60%から2011年度には25%まで低下させていることに主な原因があります。基金の4,000万円は保険料値上げ抑制に充てることです。国の適正な負担を求めることを申し上げておきます。

次に後期高齢医療です。後期高齢医療制度は2年ごとに保険料改定で値上げされ、滞納者も出ています。高齢夫婦世帯では、一方が75歳以上で一方が74歳以下の場合、2008年4月から一方は後期高齢者医療に入り、もう一方は国保に残って後期高齢者医療の保険料と国保税を別々に払う二重の負担に、制度設計そのものに問題があり、民主党の公約でありましたが直ちに

廃止すべきものであります。

次に介護保険事業についてであります。介護保険は3年ごとの見直しにより第1号被保険者の保険料の引き上げをしています。被保険者の日ごろの健康管理重視の生活により第5期の保険料引き上げ幅は抑制されています。この9年間を見ますと滞納額が徐々にふえています。平成23年度決算では270万円になっております。介護保険は給付費の5割を保険料で賄う仕組みであるため、高齢化に伴って保険料が上がり続けるという根本的欠陥を抱えており、高齢者負担は限界にきています。改正介護保険法では軽度者への給付制限を打ち出し、医療から介護へ、入院から在宅への流れを進めるものとなっています。しかも保険料を納めても認定を受けなければサービスが受けられない、認定されても利用料を払わなければならないという仕組みにより、必要な人に必要なサービスをという本来のあるべき制度になっていない、公費負担割合をふやし、介護保険制度の抜本改善が求められます。

水道事業会計は町長の運営方針にありますように、人口増の施策を推進し水道会計の改善を図ることです。

以上指摘したとおりです。よって議案第20号、21号、23号、24号は反対し、修正案にも反対です。残余の議案は賛成です。

以上で討論を終わります。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

3番・高橋充徳です。

主に第20号議案について討論をさせていただきます。

まず一つ目、エスカレーターの新基本

設計の件についてでございますけれども、この経費については平成31年度まではメンテナンスのための部品購入が可能というふうになってはいますが、25年の耐用年数ということは平成27年の7月に切れるわけでありまして。こういったこともあることから危険度も考えられると。政府の取り組みとして防災・減災ニューディールからいえば、危険性があるならば事故が発生してからは遅過ぎるという観点から基本設計することは認めるということにします。

2点目は、ユーベルホールの舞台装置の維持補修についてであります。平成25年度の予算計上は危険度がある吊り金具を修理をするという大きなところであります。使用中に事故が発生する可能性があることから、命の危険にさらされるということもあり、予防整備上必要と認めます。

ユーベルホールの館長の公募の件についてもそうですが、現在は一人三役をこなしておられるということと、今よりも住民がよりよく使用できるように取り組むためにはぜひとも館長が必要というふうに思われます。

4点目は、庁舎の管理事業の件であります。これは支所の管理事業、老朽化しているのは内部の鉄柱の根本、雨漏りという話もありますが、老朽化している、非常に危険というふうに見えます。一目瞭然、耐震化か建て直しか等の判断基準を検討することは大事であるというふうに思います。館長を除いては危険度を回避するための重大な事故を未然に防ぐことの予算計上であるために、修正案には反対をして原案には賛成とします。他の議案についても賛成といたします。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか、反対の方。

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

豊能第一クラブを代表して、第20号議案、平成25年度一般会計予算について、豊能町財政破綻という観点から反対討論を行います。

昨年12月16日、衆議院総選挙により安倍内閣が発足いたしました。いわゆるアベノミクスに対する期待感から円安株高が起り、マネーの世界は少し活況を取り戻したように見えます。しかしながら日本の実体経済は何ら変わることなく悪いままの状態であります。町長の町政運営方針の中に、工事関係事業を積極的に行うことにより住民の安全・安心に資するとともに、日本経済再生の一翼を担えれば幸いであると考えていますと述べられています。あくまでアベノミクスは国レベルの施策であり、豊能町の予算とは異なる次元の話で、分不相応の考えであると言ふべきであります。仮に豊能町が積極財政予算を組んだとしても、日本経済再生の一翼を担うことなどできるはずがなく、感覚が少しずれているのではないかと考えます。

また、田中町長の主張する積極財政化策でもって人口増や町の活性化が達成できるのか。それとも財政脆弱な小さな基礎自治体が積極財政化に打って出れば、財政破綻を招くことが先になるのか、どちらに現実味があるのか誰にでもわかる議論であると考えています。木を見て山を見ずという言葉があります。予算編成に当たり、何が山で何が木なのか、これをよくよく考えてみる必要があります。田中町長のひとりよがりの考えだけでなく、住民参加の上で決定すべき問題が数多くあると考えています。これこそが町長が言われる協働のまちづくりと言ふべきである。

さて、このような認識のもとでつくられ

た平成25年度一般会計当初予算を見ると、昨年度に比べて町税が7,000万円減少の見込みの中、歳出は6億5,500万円の増額予算となっています。6億5,500万円は、61億予算に比べて10.6%に達する見込みであります。このような財政再建の取り組みを放棄して転換するというような予算は、まさしく豊能町財政の破綻シナリオの引き金を引く予算の始まりと言わざるを得ません。ひとたび豊能町に財政破綻が現実のものとなれば、豊能町に夕張化が起こることです。豊能町の不動産価値は下落し、住民みんながその影響をこうむることになるでしょう。悪循環がとめどなく起こり、被害は甚大、元に戻ることはないであろうと。

昨年10月12日に新旧町長がとり交わされた事務引継書を見れば、平成27年度以降の財政推計を速やかに作成されたいと明記してあります。財政推計資料が議会に提出されたのは予算特別委員会が閉会した後3月22日のことであります。3月25日に全員協議会で説明会がなされました。そもそも本来、財政推計資料は一般予算審議の前に出すべき資料であります。順番があべこべであると言わざるを得ません。説明の中で、この財政推計資料はいつつくられたのかという質問には答えることができない、また基金ゼロになる時期、早期健全化団体転落時期、財政再生団体転落時期はいつかの質問に対して、このまま推移すれば平成29年度に基金がゼロになり、平成32年度にはイエローカード、つまり早期健全化団体に転落、平成33年度にはレッドカード、つまり財政再生団体に転落すると報告されました。つまり豊能町破綻の日、Xデーが示されたことになるわけです。田中町長は新旧町長の事務引継書をよく読んでおられるのか。町長は財政状

況厳しいとは述べられておりますが、実態を本当にしっかりと把握なされているのか、はっきりと理解されていないのではないかと考えられます。

さて引継書にはどのようなことが記されているのか。財政再建計画についてこのように記されています。まず財政再建計画に関して、平成21年度に財政将来推計を再算定したところ、平成25年度に早期健全化団体に転落することが判明したため、平成22年度から平成26年度までを目標年次とする新たな計画として財政再建計画を策定して今実行中である。

問題点。現在保管しているダイオキシンの処理費用については財政推計には反映されていないため、新たな財政支出となり、町財政を圧迫する。巡回バス、光風台エスカレーター、ユーベルホールについて進むべき方向が決定していない状況である。今後の対応、早急に計画未達成の達成を図るとともに、平成25年度以降のさらなる取り組みに係る計画を策定し実行に移すべきであると、こう記されています。

財政状況についても、平成24年3月時点の財政推計では、平成24年度決算から実質単年度収支が赤字に転じ、以降も赤字が継続するため、基金は平成26年度末までに4億円程度減少する見込みである。なお、推計上の実質単年度収支は特定目的基金の取り崩しも反映していることに留意なさいと。

問題点。今後は維持補修費が増大することが必至である。また高齢化に伴い扶助費の増加も続く。そのような中でも歳入を増加させる即効的な策はなく、歳出を削減せざるを得ない状況にある。

今後の対応。速やかに平成27年度以降の財政推計を出して、中長期的な財政運営方針を示すべきであると、このように記し

ています。

予算編成に関しては、平成25年度当初予算編成方針を早急に策定されたい。なお予算編成においては収入の範囲内で予算を組む原則を徹底すべきであると。

新旧町長の事務引き継ぎは昨年10月12日であります。随分前から前町長が新町長に遺言書とも言うべき豊能町財政運営に関し大事な事柄を事細かに書きつづり申し送っています。町長御自身の任期中の責任はもとより、将来の豊能町のための責任ある財政運営をしていくことが豊能町長の責務と考えます。近い将来、豊能町破綻が現実になり得る重大な情報があるのであれば、一刻も早く正しく住民に伝える義務があります。

豊能第一クラブとしては、財政破綻に関して理解が不十分のまま作成された今回の一般予算に合理性を見出すことは困難との結論に達した。豊能町の財政を近視眼的に見るのではなく、もう少し中長期的な展望に立って、さらなる将来財政推計を出して、財政破綻を招くことのないような計画を立てた上で予算を組み直すべきであると主張いたします。そうすることが多くの声なき声の豊能町住民が求めていることであると解すべきであります。議会は決して追認機関ではありません。立場上から上下関係がないので適当な言葉遣いではないかもしれませんが、古来、諫言、いさめるとい言葉があったように思います。諫言を受け入れる度量が必要であると、このように考えます。

ダイオキシン処理に関して、高山地区で保管中のダイオキシン汚染物ドラム缶198本の期限が10月28日に迫っています。あと7カ月と迫ってきました。誰が担当しているのかと問われて理事者であると答弁されましたが、当の理事者はあて職だと答

弁する始末であります。担当者を決めないままでは豊能町長として本気で取り組んでいるとは言えません。本気になってダイオキシン処理の解決に取り組んでいる姿勢を見せていただきたい。

選挙中のキャッチフレーズ、若さ、情熱、実行力を真摯に実行していただきたい。今まさにそれを実行して見せるときであります。そうしなければ今後いつまでも豊能郡環境施設組合の予算を無駄に浪費するだけになってしまいます。

光風台エスカレーターの問題については、エスカレーター更新は平成30年度に行う必要がある。平成28年度に予算請求、平成29年度に業務委託、平成30年度更新工事のスケジュールになると事務引継書に記載されています。事務引継書に基づいて設計予算140万円を計上することについては賛成します。

以上です。

(発言する者あり)

いや、反対。頭で・・・

○議長(福岡邦彬君)

結構です。ほかにございますか。

次は、今、反対討論と認めましたので、賛成討論の方ございますか。

(発言する者あり)

○議長(福岡邦彬君)

今申し上げましたように、私は第27号議案までと修正案を含めて賛成反対と言いましたもので、きちんと分けていただければ結構だと思います。今さっきみたいなことのないようにお願いします。

秋元美智子議員。

○10番(秋元美智子君)

失礼いたしました。無所属の会を代表いたしましたして、第20号議案、平成25年度豊能町一般会計予算の件の修正案に対する賛成討論をさせていただきます。

豊能町はこの先ますます高齢化が進み町民税が落ち込んでまいります。この深刻な事態に向けて豊能町は3年前、平成22年から平成26年の5カ年計画で25億円の収支改善を図るために財政再建25項目を打ち出し、職員一丸となって、また住民の皆様様の御協力とそれから御負担をいただきながら取り組み、計画を進めてきたところでございます。

1年前私たちは、住民の皆様もそうですが、このまま財政再建に取り組んでいけば最終の平成26年度には残すところ1億3,600万円で目標額の25億円に達するとの報告をいただきました。また町の貯金である基金残高は、3月22日現在約25億円以上まで取り戻してきました。ところが平成25年度予算は残り2年ある財政再建を進めるどころか、逆に25項目のうち光風台のエスカレーターとユーベルホールを対象外とし、そのために最終平成26年度の効果額は2億1,000万円も下がる約22億9,000万円となっております。後退いたしました。

また今回の予算の中では、町の貯金である基金を5億円も崩し、かつ借金もふえるということになっております。次世代のために、この豊能町の町民のために引き続き財政再建に取り組まなければならないこの大事なとき、やはりなぜこの基金を崩していくのかということに対して非常に不安を持っております。

また、この予算案の中には幾つもの理解と違った予算が計上されております。それにつきましては先ほど永並議員も触れてまじましたが、私自身も、ユーベルホールに新たな専門家を配置したいという人件費ですけれども、これを計上されることは総人件費の圧縮をと訴えてこられた町長の姿勢とはやはり反しているのではないかなと思っ

ております。

2点目に光風台のエスカレーター問題でございます。6年先の平成31年までこれは稼働が可能です。ですが今回の予算は平成27年度に更新するための財源でございます。そのための予算でございます。エスカレーターは昨年2月、代替案検討会議で、大規模災害などで一時的に部品が大量に必要な場合を除き、平成31年度末まで稼働させることは可能と判明しました。そのために住民の負担について結論を得ることを時期尚早としたのでございます。したがってこの予算というのは代替案検討会議の結論、その趣旨を完全に無視し、また財政面、住民の感情から考えてもやはり説明がつかないと思います。しかも町は平成27年に更新するその理由を、豊能町を活性化させるため、魅力的なまちづくりとしております。現在エスカレーターが稼働されていないのであれば、ぜひとも進めたい施策です。しかし平成31年まで明らかに稼働するとメーカーのほうに言っている以上、今ここで平成27年に変えることは、むしろ豊能町の財政を悪化させ、豊能町を衰退させるおそれがあると思ます。

次に吉川支所を耐震化するか建てかえるか、比較検討を得たいとしてその予算を計上されております。これは、老朽化した庁舎の一元化構想に対して、現町長は、既存の施設を活用すると、そのように公言されてました。ですからやはりこれもやはり慎重に、御自身が公言されたことと合わせて慎重に対応していただきたいと思ます。

特にここで申し上げたいのは、3月22日に町から財政再建計画の進捗状況並びに財政推計資料が配付されました。それを見てやはり啞然といたしました。さきの4年間で財政再建を図りながら約25億円まで

積み上げてきたその基金を、この先の今後の4年間の中で取り崩していただくのそうした財政推計になっていました。あと一歩で赤字再建団体、そういうことを示唆する資料でございます。未来に、本当に未来に責任をとれる、この豊能町を運営していくために、今、何を先にすべきか、その基本にぜひ豊能町は立ち返っていただきたい。そのことを申し上げまして、今回の予算の中から今なすべきか、先にすることを考えた上で先ほどの修正案に賛成させていただきます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

6番・山下でございます。住民の安心・安全の対策である光風台大橋の耐震化、通学路等交通安全等整備、巨大地震を踏まえた防災事業が盛り込まれた予算原案を評価するものでございます。ただ残念なのは、子宮頸がんワクチンなどの3種ワクチン接種事業でございます。この事業は住民の命を守る大切な事業であると認識しております。また平成25年度より恒久化事業へと実現する運びとなり、大変評価するものでございます。ところが予算計上は前年度の実績に基づいた接種率に従った予算しか計上されておりません。自治体の計上方法なのかわかりませんが、世間一般の常識では目標値に裏打ちされた予算を計上すべきではないでしょうか。接種が増加した場合は補正予算で対処するとのことですが、次年度よりは前向きな目標に裏打ちされた予算を計上されることを要望いたします。

よって、第20号議案、一般会計修正案には反対し、原案を含めその他には賛成と

いたします。以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

7番・永並啓です。町政会を代表し討論させていただきます。

来年度の予算は田中町長にとって初めての予算です。私は大変期待しました。しかし全体を通して田中町長の色が全く出ていません。今までと一体どこが違うのか。改革をするために町長になったはずです。思う存分町長の色を発揮できるのが予算です。しかしこれまでの一般質問においても将来ビジョン、豊能町の将来ビジョンやグランドデザインは一切示されません。また町長は、消費税が上がる前に住宅の特需がある、だからそれまでに豊能町をPRし、定住化を促進したいと述べておられます。消費税が上がるのは平成26年度です。それならば平成25年度の予算で、非常に重要になるこの予算で対策を講じないといけない。この予算で豊能町をPRし若い人を呼び込まなければ特需は一瞬に終わってしまいます。しかしこの予算の中で一定額の家賃補助をする、例えば大阪市内でも働ける、共働きでも働ける人を豊能町に呼び込むために保育時間を拡大する、他市町村と差別化を図れるような教育施策を打つ、そういったことが何もない。とても残念です。これじゃ豊能町の将来ないんです。

それでまたいじめや体罰。これについても子どもの命を守る予算です。豊能町でもあったんです。しかし新たな予算、これが含まれておりません。やはり子どもの命、何としても守るんだ、町長の強い決意でそういったことを反映していただきたいかった。今回は町長にとって初めての予算だから、まあ様子を見ようと考えている人もいるか

もしれない。そういった側面もあります。しかし、田中町長が最近全国で首長になられている30台前後の若い市長であればわかります。しかし田中町長は大阪市で24年間まちづくりを経験されてきた方です。選挙でもそう訴えておられました。有権者も即戦力ということで投票された方もたくさんいます。また豊能町は財政難、首長の任期は4年です。4年のうちの1年を無駄にするほど余裕はありません。地方議会は国会と異なり、議案を可決すれば即住民サービスに直結するものがたくさんあります。つまり貴重な税金を使う、最後の砦となるのが地方議会です。どんどん修正すべき。しかし現在の地方議会のあり方は、3ない議会と言われるように、ほとんどそういったものが行われたい。住民に身近であるがゆえにいろいろな細かい議論をすることが出てきます。当然のことながら方向性は一緒でも個々に違うことがある。そこはどんどん修正しないと、それが即住民サービスに影響を与えるんです。初めての予算だからというのであれば、一方で町長はまだ町長の色を出し切れていない、そういった側面があるんなら、それならなおさら議員の側からこういったところ、コミュニティセンターの件でもそうです。方針が変わってるよ、こういったところはおかしい、どんどん修正をしないといけない。温かく見守るだけが支援ではありません。とってもしっかり期待してるから修正をし、豊能町の将来のために、このままでは豊能町の将来ありません。ぜひともどんどん新しい施策を打ってもらうために修正案のほうに賛同をお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

西岡義克議員。

○13番（西岡義克君）

御指名いただきました、緑豊クラブの西岡でございます。緑豊クラブを代表いたしまして、第20号議案、平成25年度豊能町一般会計予算に対する賛成討論をいたします。

世界経済は不況の状況下でございます。また国内においては同様に、インフレ状況でございます。またその上、近年3月には、1,016兆円の累積赤字となり、初めて国の借金が1,000兆円の大台に乗る見込みでございます。その中で、新政権はデフレ経済脱却に向けアベノミクス、三本の矢を柱に緊急経済対策として10兆円の緊急補正を行い、さらに立て続けに積極果敢な財政政策を含め諸政策をとっているところであります。ただ真価を問われるのは、財政実行段階に入るこれからであろうと思われま

す。さて、豊能町の平成25年度の一般予算は、町長の熱い思いに裏づけされた諸政策を反映するものであります。その一般予算は平成24年度同様、3%の町税の落ち込みにもかかわらず、前年度の5.1%増、2億9,700万円増の61億3,700万円という積極果敢な予算編成であります。そして、それはまさしく住民へのサービス増、町の活性化へ向けての12億9,800万円の投資的経費であり、前年度比31.9%増、3億1,400万円増という驚異的な予算計上であります。

ちなみに平成24年度の投資的経費は9億8,400万円であり、平成23年度に至っては平成22年度予算17億1,900万円の54.4%減の7億8,400万円という超緊縮予算でありました。その結果、町の動向は光風台のエスカレーター、ユーベルホール等々の事業の縮小、サービスの低下というデフレスパイラル状況にござい

た。来年度予算はその旧態依然を変えるため、厳しい財政状況のもとではありますが、選択と集中によるプラス思考予算の計上ということでございます。

さて、来年度予算は、まず東日本大震災の未曾有の災害に対応できる安全・安心なまちづくりを目指し、消防費に前年度比35%増の約6億1,400万円、また長期の展望に立ち豊能の未来に向け、人が輝き子どもが輝くまちづくりに向けて、前年度比18.4%増の約9億3,400万円の教育予算の計上、さらに民生費においては特に障害者・障害児に優しい思いやり予算2億3,300万円が組み込まれております。

特に来年度は、豊能町第4次総合計画が策定され町の活性化に向けた豊能町活性化プログラムの重点施策実施の最終年度でございます。

町の重点施策、教育・子育てのまちづくりについて申し上げますと、ユーベルホールは豊能町の文化高揚の原点であり、豊能町の文化発信基地として、教育、子育て、まちづくり、まちの活性化にとって必要不可欠な施設であります。

ユーベルホール大規模改修事業4,047万8,000円、文化振興事業費予算660万3,000円は、豊能町の文化高揚、まちの活性につながることでできる予算であります。

また、定住化の促進につきましては、特に交通体系の再構築に向け、地域公共交通社会実験運行事業費予算1,761万5,000円、西地区路線バス確保維持事業の1,000万円、光風台のエスカレーター更新基本設計事業の140万円は、ともに定住化施策として推進すべき重要な予算でございます。

今後、まちの活性化に向け、よりよい交通体系の再構築、また、駅前活性化を含

め人口流出の阻止、人口流入施策として粛々と進めなければならない施策であります。

さらに、豊能の教育ナンバーワン、自然と安心のまちを町外に発信するために、イメージキャラクター創作事業345万7,000円、観光事務事業199万7,000円、定住化促進事業17万6,000円等々の予算計上は、まちの活性化施策を推進する補完事業としての協働事業予算でございます。さまざまな事業予算が数多く計上されておりますが、絵にかいたもちになってはいけません。行政評価導入研修事業、行政評価導入事業費41万4,000円が計上されておりますが、わずかな予算ではあります、最も重要な予算であります。金額の大小ではなくやる気です。キーワードは職員のモチベーションの高揚でございます。財政政策と同時に行政手腕が問われるところであります。住民との協働の前に職員との協働が喫緊の課題ではないかと思っております。コマーシャルじゃないですが、いつやるんですか、今でしょうということでもあります。安部総理はT P P参加を国家百年の計と言っています。今やるんだと言っております。政治の原点は経世済民、世を治め民を救うということでもあります。我々は住民と協働して粛々とこの予算を進めるために頑張っていかなければならないと思っております。

本予算は、このまちづくりに向け、住民とともに協働して進めるということで、今回のこの予算に対して賛成の討論をさせていただきます。議員諸君におかれましてはどうぞ御同意いただきましてご賛同賜りますことをお願い申し上げまして賛成討論いたします。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

第20号議案、平成25年度豊能町一般会計予算の件に対する委員長の報告は否決であります。

まず、本件に対する永並啓議員ほか1名の議員から提出された修正案について採決いたします。

本修正案に賛成の方は起立願います。

（少数起立2：11）

○議長（福岡邦彬君）

起立少数であります。よって修正案は否決されました。

次に、原案について採決します。

原案に賛成の方は起立願います。

（多数起立7：6）

○議長（福岡邦彬君）

起立多数であります。

よって、第20号議案は原案のとおり可決されました。

この際、暫時休憩いたします。再開は午後1時とさせていただきます。

（午後0時05分 休憩）

（午後1時00分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

第21号議案、平成25年度豊能町国民健康保険特別会計事業勘定予算の件に対する委員長の報告は可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（多数起立12：1）

○議長（福岡邦彬君）

起立多数であります。

よって、第21号議案は、委員長報告のとおり可決されました。

第22号議案、平成25年度豊能町国民健康保険特別会計診療所施設勘定予算の件

に対する委員長の報告は可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第22号議案は、委員長報告のとおり可決されました。

第23号議案、平成25年度豊能町後期高齢者医療特別会計予算の件に対する委員長の報告は可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（多数起立12：1）

○議長（福岡邦彬君）

起立多数であります。

よって、第23号議案は、委員長報告のとおり可決されました。

第24号議案、平成25年度豊能町介護保険特別会計事業勘定予算の件に対する委員長の報告は可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（多数起立12：1）

○議長（福岡邦彬君）

起立多数であります。

よって、第24号議案は、委員長報告のとおり可決されました。

第25号議案、平成25年度豊能町下水道事業特別会計予算の件に対する委員長の報告は可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第25号議案は、委員長報告のとおり可決されました。

第26号議案、平成25年度豊能町生活

排水処理事業特別会計予算の件に対する委員長報告は可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の方は起立願います。

(全員起立)

○議長(福岡邦彬君)

起立全員であります。

よって、第26号議案は、委員長報告のとおり可決されました。

第27号議案、平成25年度豊能町水道事業会計予算の件に対する委員長の報告は可決であります。

本件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の方は起立願います。

(多数起立12:1)

○議長(福岡邦彬君)

起立多数であります。

よって、第27号議案は、委員長報告のとおり可決されました。

この際、暫時休憩します。

(午後1時04分 休憩)

(午後1時04分 再開)

○議長(福岡邦彬君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

秋元美智子議員。

○10番(秋元美智子君)

付帯決議をお願いしたいと思いますが。

(発言する者あり)

○議長(福岡邦彬君)

申しわけございません。もう一度お願いします。

○10番(秋元美智子君)

申しわけございません。

第20号議案、平成25年度豊能町一般会計予算の件に対する付帯決議をお願いいたします。

○議長(福岡邦彬君)

ただいま、秋元美智子議員から、第20号議案に対する付帯決議の動議がございま

した。

動議には1人以上の賛成者が必要です。秋元美智子議員の付帯決議の動議に賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(福岡邦彬君)

動議に所定の賛成者がおりますので、成り立たせました。

この際、暫時休憩いたします。再開は放送をもってお知らせいたします。

(午後1時07分 休憩)

(午後1時20分 再開)

○議長(福岡邦彬君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りいたします。

ただいま、秋元美智子議員ほか1名から、第1号議会議案、第20号議案平成25年度豊能町一般会計予算の件に対する付帯決議が提出されました。

これを日程に追加し、追加日程第1として直ちに議題にしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

異議なしと認めます。

第1号議会議案を日程に追加し、追加日程第1として直ちに議題とすることに決定しました。

追加日程第1「第1号議会議案 第20号議案平成25年度豊能町一般会計予算の件に対する付帯決議」を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

秋元美智子議員。

○10番(秋元美智子君)

文面を読ませていただきますので、よろしく願いいたします。

第1号議会議案、「第20号議案 平成25年度豊能町一般会計予算の件」に対する付帯決議。

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

平成25年3月28日 提出。

豊能町議会議長、福岡邦彬様。

提出者、豊能町議会議員、秋元美智子。

賛成者、同、永並啓。

提案理由。

3月22日に町より提出された財政推計は、今後豊能町の財政が、いかに深刻化していくかを示唆している。財政再建25項目の基本に立ち返り予算の執行にあたっては真摯かつ慎重な対応を求めるものです。

第20号議案、平成25年度豊能町一般会計予算の件に対する付帯決議。

豊能町の財政状況は、この先、人口減と高齢化により町税が落ち込んでまいります。25年度予算では、前年よりマイナス3%、6,200万円の減少となっており、国からの交付税も大幅に削減されることが決まっています。

3年前、豊能町は、深刻化していく財政状況に対応すべく、22年度から26年度の5カ年計画で、25億円の収支改善を目標に、財政再建25項目を打ち出し、住民のみなさまにご理解、ご協力、さらにはまた誤解をいただきながら、職員一丸となって、取り組み、邁進してきたところでございます。

昨年（平成24年）3月に出された中間報告では、このまま財政再建に取り組んでいけば、最終の平成26年度末には、23億6,400万円の効果額となり、目標額の25億円まで、残すところ1億3,600万円となりました。

この間、大阪府下自治体で初の幼保一元化を実現、あわせて幼稚園の給食、通園バス、また、長期休暇や日々の預かり保育の実施など、新たな施策を打ち出しながら、その一方で、町の貯金である基金を約11

億4,000万円増やし、この3月22日現在、基金残高は24億8,200万円までになりました。

ところが、今議会に、上程された平成25年度予算は、残り2年ある財政再建計画を進めるどころか、逆に、25項目のうち「光風台駅のエスカレーター」と「ユーベルホール」を対象外とし、そのため、最終26年度末の効果額は、2億1,000万円も下回る約22億9,000万円と大きく後退しました。

そのうえ、町の貯金である基金を5億円近くも取り崩し、借金である公債を、4億8,000万円も発行するというものです。

次世代の豊能町民のために、引き続き財政再建計画に取り組まなければならない、この大事な時期に、なぜ、貯金を減らし、借金を増やすのか。

しかも、この3月22日に、町が出した財政推計は、先の4年間で蓄えてきた基金を、今後、4年間で、取り崩し、さらに取り崩し、あとわずかで赤字再建団体に転落するという由々しき事態となっております。

いま一度、町は、「町の将来を見据え、社会情勢の変化にも対応し、安定した行政運営を行うことができるよう、財政再建計画を継続し、引き続き歳出削減を進めたいうえで、より健全な財務体質を確立する必要がある」とした、その基本姿勢に立ち返って、25年度一般会計予算の執行に際しましては、次に上げる事業に対して、真摯、かつ慎重な検証と対応をすることを強く要望し、付帯決議といたします。

1点目、光風台エスカレーターの件。

財政再建計画の対象外とした光風台駅のエスカレーターは、6年先の平成31年まで、稼働が可能であるにもかかわらず、平成27年度に更新するための予算が計上されております。

光風台駅のエスカレーターは、昨年2月、「代替案検討会議」で、「大規模災害などで一時期に、部品が、大量に必要な場合を除き、平成31年末までに稼働させることは可能と判明した」ことから、「住民の費用負担について、結論を得ることは、時期尚早と判断した」ことは周知の事実でございます。

したがって、平成27年度に更新することは、「代替案検討会議」の結論、その主旨を完全に無視したもので、財政面、住民感情から考えても説明が付きません。

また、町は、27年に更新する、その理由を「豊能町を活性化させる」「魅力的なまちづくりのため」としています。

現在、エスカレーターが稼働していないのであれば、その理由も理解できなくはありませんが、平成31年まで、明らかに稼働が可能な限りにおいては、むしろ、豊能町の財政を悪化させ、ひいては衰退させる恐れがあります。

もし、本当に「豊能町の活性化」「魅力的なまちづくり」を考えているならば、足腰が弱くなっていく高齢者、車椅子の方、赤ちゃんをバギーに乗せた若い世代、冬場の雪の問題、将来、再度やってくる取替え経費など幅広い視点から、上下に移動出来るエレベーターの設置を含めて検討すべき課題です。

ちなみに「ときわ台」駅のバリア・フリー化を公言されながら、その予算を計上されませんでした。住民にとって必要不可欠なサービスは、平成31年度まで稼働できる光風台駅のエスカレーターを、4年早い、平成27年に更新することではなく、まず先に、「ときわ台駅」のバリア・フリー化の実現であることを、ここで、あえて申し上げさせていただきます。

2点目、ユーベルホール大規模改修の件。

ユーベルホールを財政再建25項目から外し、25年度から3カ年計画で、1億2,000万円あまりの財源を投入して大規模改修する、としています。しかし、肝腎の活用方法については、「文化の拠点」のみにとどまり、いまだ、確たる方向性を明確にしておりません。

音楽特性を生かすのか、住民や小・中学生の発表の場として開放するのか、その方向性によって、投入する費用も違ってきます。安全・安心面で最低限の修理を行ったのちは、ユーベルホールの位置づけ、方向性を明確にしたうえで、大規模改修するか、設備を更新するか、真摯に検討していただきたい。

以上付帯決議する。

平成25年3月28日、豊能町議会。

よろしく願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

竹谷勝議員。

○8番（竹谷 勝君）

2点、お聞きをしたいと思います。

まず後のほうから。

まず光風台のエスカレーターの件について、最終ページ、上から5行目、したがって、平成27年度に更新することは、代替案検討会議の結論、その主旨を完全に無視したもので、財政面、住民感情等々から、なってますけども、今、町が取り組もうとしているのは、財政面があるために国の交付金を活用して何とか進めていきたいと、1点はそういうふうに聞いております。そのことに対して、提案者である秋元議員はどのように考えられているか。

もう1点は、財政推計のことですけども、あくまでもこれは推定であって、まだ確定値ではありません。平成24年度の出納閉鎖終わらないとまだ確定していないという

段階での財政推計であります。この辺を加味して、先ほどから述べておられます財政再建団体に陥るとか、その辺はちょっとかみ合わないんじゃないかと、私、思いますけれども、その辺の説明をお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

竹谷議員の質疑に答えさせていただきます。

代替案検討会議の結論、その主旨を完全に無視したもので、財政面、住民感情から考えても説明がつかないということで、財政面ということはどういうことかと、町長のほうは補助金があるうちにとということで、今、急いでるんだというふうな御質疑かと思えます。

私が言ってますのは、町長はまず補助金があってもなくてもこのことは進めるとおっしゃってました。また当然補助金があればありがたいことですが、今、私はやはりここでお金、平成27年度までに使うことよりも、さらにその4年間、そのことの収支改善を図っていただいたほうが豊能町のためになると思ってます。これは私、思っています。ですからそこら辺は、視点の食い違いということあるかもしれません。

それともう1点ですが、財政推計でございます。おっしゃるとおり、あくまでも推定でございます。しかし推定であれ、豊能町がやはり今後かけてこれまで積んできた基金を崩して、使って使って行って、その先に非常にやはり赤字再建団体という危険性が迫っていることは、これは実に私は予断を許さないことだと思います。ですからこそ財政再建に関しては真摯に取り組んでいただきたいという、そういう思いでござ

います。

○議長（福岡邦彬君）

竹谷勝議員。

○8番（竹谷 勝君）

エスカレーターの交付金の件に関しましては、今、我々聞いているのは、交付金をつけていただいて進めていくというのが大きな理由の一つに私は理解しておりますので、少し秋元議員との認識が、違いがあるかなと思っております。

次に財政推計のほうですけれども、我々この前財政推計の説明を受けたときには、今後については何もしないということを前提にしますと、こういう財政推計になりますと、あくまでもそういう説明であったと理解しております。当然この推計をもとに、我々議会も行政も、ともにやはり健全財政が維持ができるように切磋琢磨して進めていくべきだと思っております。あくまでもこれは何もしない状態で推移をすることになりますよと、あくまでも私は参考だと思っておりますので、その辺の認識も提案者の秋元議員とは、ずれがあると思っております。その点についてもし御説明が追加されるんでしたらしてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

確かに町長のほうからは、財政再建につきましては平成25年度、平成26年度を待って、それから出したいという説明いただきました。ならばなぜ私自身は、平成26年度まで待って、ユーベルホールのことエスカレーターのことも待っていただけないのかと、それだけで財政推計はまた大きく変わってまいります。そういう意味では、あのとき同時に新たな田中町長のもの財政再建計画が出ていたらまた別ではご

ございますけれども、それがなく、そして平成26年度も待たずに先へ進めていくということに対して非常に危機感を、私は正直持っています。その財政再建につきましては、今後田中町長に期待をさせていただきますけれども、今の段階ではこのような思いを持っておりますのでよろしくお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

1番・橋本です。秋元議員にお尋ねします。

この付帯決議ですけれども、1番の光風台エスカレーターの件というふうに書かれますが、この中を見ると、平成31年まで改修したらあかんで言うてはる、エレベーターをやったほうがいって言うてはる、むしろもう一方ではときわ台をやるべきやと、これは何を付帯決議されてるのかと、もうひとつよくわからないんですが、そのあたり御説明お願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

これは提案説明でさせていただきました。3月22日に町より提出された財政推計は、今後の豊能町の財政がいかに深刻化していくかを示唆しておりますので、財政再建25項目の基本に立ち返って、予算の執行に当たっては真摯かつ慎重な対応をしていただきたいと。

それで、今、橋本議員が質疑された光風台のエスカレーターの問題ですけれども、やはり大きなお金を使っていくわけです。あれはどんな形であれ、平成31年、その先になるかどうかは別として、エスカレー

ター、そういうふうなその時期までに本当に豊能町の活性化、住民の魅力的なまちづくりを考えていただく場合だったら、やはりまだ検討の余地があるんじゃないかと、そういう意味でございます。そしてまた、前回の代替案検討会議では、住民が負担してもというふうなお話も出てました。けどもそれは時期尚早だという形でおさまっていますので、そのこともやはりあわせて、町としてのお考えも今後やっぱり含めて検討していただきたいという思いでございますので、よろしくお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

言うてはることわからないでもないですけども、そうしたらその中で1点、平成31年まで明らかに稼働が可能な限りにおいては、むしろ豊能町の財政を悪化させ、ひいては衰退させるおそれがありますというふうに述べられておりますけれども、これ4年引っ張ったときにどれだけの財政の衰退があるかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

少なくともエスカレーターの設置費は浮きます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

もちろんそれはわかってますけども。ただ、今後やらないと、改修しなければ当然そのお金というのは浮いてくると思いますよ。1億数千万円の金は浮いてくると思います。ただ、いずれやる、平成31年までにはやる。仮に平成31年にやるとしましょう。それであれば一緒やと思うんです

けど、それはどういうロジックでお考えなのかをお聞かせくださいということです。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

財政再建25項目の収支改善策ございますね。そこから私は申し上げております。それは議員たち、財政再建の収支改善の25億の積み重ねの計算方法というのがありますので、そのことからくんでいただきたいと思います。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

傍聴席は静かにしてくださいね。

ほかに。

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

私もエスカレーターの運行について、秋元議員にお伺いするんですけども、この平成31年というのは、私が思っておるのは部品の供給ができると、これが平成31年まで保証されてると思うんですけども、稼働について保証したものではないと、平成31年まで必ず動かせるよということではないと私は理解してるんですが、その点お聞かせ願いたい。

それともう1点、エスカレーターとときわ台のバリアフリーを、私が読むにはてんびんにかけてるような印象を受けるんですが、その辺についていかがでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

平成31年まで動かないんじゃないかというふうな質疑だったと思うんですけど・・・

（発言する者あり）

そうですか。ちょっともう一遍ちょっと質疑いただきたいと思います。

ここはあくまでも大規模災害などで一時期に部品が大量に必要な場合を除き、平成31年末までに稼働させることは可能と判明したと、そういうことでございます。

それともう1点、これはてんびんにかけているではありません。やはり今回、町長がエスカレーターの更新、いろいろありますけれども、そのところに豊能町の活性化、魅力的なまちづくり、いろいろおっしゃってましたし、また、ときわ台のバリアフリーに関しましては公言もされてましたね。ですからやはり、少なくともこの予算、それに向けた予算は入ってしかるべきではありませんかということ、ここであえて申し上げさせていただく、まさに文面のおりでございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

よく聞いていただきたいと思うんですけども、当時、補修部品がないのでできないと言うてたんですけども、この補修部品が平成31年までは補給しますというのが確約されたわけで、必ず動きますよ、大丈夫ですよというのを確約したものではないんです。そこそこはよく間違う。これは部品が補給しますよということだけであって、稼働するのを保証したものではないです。それはもう平成25年度で切れるわけです、一応保証期間・・・

○議長（福岡邦彬君）

いやいや、間違ってます。

○6番（山下忠志君）

27年、平成27年で切れるんです。そやからその後、平成31年度まで必ず動くという保証はないんです。その辺どういぐあいに考えておられるかということをお

聞きしたい。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

これ、メーカーから出された文書がございます。それで、このことに関しては行政も大変迷って、平成26年度末で終わるんだと判断した経緯がございます。その後行政のほうが、この文面はどういうことかということメーカーのほうに聞いていったときに、平成31年までには稼働させることは可能なんですという、そういうふうなお答えがあってのこの一文でございますので、そのあたりもぜひ、よろしく御理解のほどお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

わかっただけでないかなと思うんですけど、稼働を必ず保証したものでない、部品を保証しますよと、補給を保証しますよというのの違いがあると思うんです。例えば、部品があったかて、真ん中でぼきっと折れたら、こんな絶対やっていけないです。その辺は、そやから必ず稼働を保証したのではないというのを認識していただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

1ページ目の、いま一度、町は、町の将来を見据え、社会情勢の変化にも対応し、安定した行政運営を行うことができるように財政再建計画を継続し、引き続き歳出削減を進めた上で、より健全な財務体質を確立する必要があると、ここのところで強く要望されているんですけども、収入、歳

入に対しての、今、施策というのがなかなかないもとの、財政再建は今までいろいろ、職員の給料の削減、また25項目のうちには、いろいろ削減の項目があって、住民負担なり職員の負担なり、そういうものがあったんですが、引き続き歳出削減ていうところではどういうことを求めておられるのか、その点をお聞かせ願えますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

この財政再建というのは、平成22年度から平成26年度までのことでございますので、その後も引き続いて、今、高尾議員がおっしゃったように町の職員の給料を下げたらいいとか、ああいった、そういう意味合いの文章ではございません。私はあくまでも、平成22年度に財政再建がスタートして、この5年間のこの町の取り組みですね。それをあと2年間、最終年度までやっていただいた上でのその効果というのは大事ではないかなという意味でございますので、よろしくお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

秋元議員にお聞きをいたしますけども、この最後のページですけども、エスカレーター問題ですけども、前段のほうは代替案検討会議の意見を重視するというふうにとれるんですけど、最後のこのエレベーターのことですけども、検討会議ではエレベーターは考えていないという結論あったんじゃないかと思うんですけども、その辺がちょっとよくわからないので、その検討会議のやつを重視するのか無視するのか、どうもこれは二つに分かれると思うんです。

その辺のことをお聞きいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

代替案検討会議ではエレベーターのことは出ておりません。そしてなおかつ平成26年までに動くと、いやいや6年、もうじき・・・（発言する者あり）ということ出ておりません。ですから一番上の分に関しまして、私書いてますのは、平成31年まで稼働することは可能になったと。ですからもう一遍やっぱり含めていろいろなことを考えていったらいいんじゃない、それは住民の負担も加えてですよ。住民がどこまであのときは負担するかというお話もありましたけど、そういうことも含めて時期尚早と。あそこでエスカレーターというふうに決まったものでもないですし、ただやはり住民の利便性のためには何かしら動かさなくちゃいけないと。ですから私はもう一遍ここでは代替案検討会議、この上の文面ですけれども、いうふうにして平成31年まで了解したはずであるにもかかわらず、今、平成27年で何とかということがやはり筋があわないんじゃないですかと書いてます。もしも本当に、その下の文面ですけれども、町が、町長が、いやそうじゃなくて、代替案検討会議は検討会議のこととして、町の活性化ですとか魅力的なまちづくりを考えてのことであるならば、より広い人たちが利用できるエレベーターのことも含めて、あその駅をどのようにして活性化させていくのかということも含めて検討していただきたいというふうな思いで、ですから検討すべき課題ですということでもありますので、よろしくその辺は、文章は非常にちょっと誤解を生むのかもしれませんが、御理解のほどお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

検討会議ですか、この中ではエレベーターはだめやという結論が出たと私はお聞きしておるのですが、それで今、秋元議員が答えられた内容とまたこれ事実が違うと思うんですけども、その辺ちょっとお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

バスがいいか、エレベーターがいいか、代替案検討会議ですからね。しかももう間近に迫った中で、今この豊能町、あその駅で働いている、使っている、要するに働き手の層がありますね。間近に迫った中ではエレベーター、要するに大量に移動することができるからエレベーターがいいんじゃないかということで話は一度決まりかけたのは事実でございます。その後・・・

（発言する者あり）

ごめんなさい、エスカレーターですね。エスカレーターに決まりかけたのは事実です。（発言する者あり）その後、じゃあそれを稼働していくには、じゃあ住民がどれだけ負担したらいいのかという話で、そこがそこまでとまってしまっているわけでございますので、そこもまたあわせてお願いいたします。ですからまだ5年先に伸びたということは、ゆっくりと、あその駅の前はどうするかと考える時間があるのではないかという意味も込めておりますので、どうか、エレベーターがいけないとかエスカレーターがいいとかこだわってのことじゃないです、私自身も。ここに書いてあるように、やはり広い範囲から検討すべき課題ではありませんかということですのでよ

ろしくお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

傍聴者の皆さんに申し上げます。静かにしてください。場合によっては退場願うこともありますので、厳重に申し伝えます。

ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

今、提出されております付帯決議に関して討論を行います。

いろいろとるる述べられました。私もいろいろと討論の中で意見を言いましたけれども、今挙げられた項目の中で十分それを検討材料として慎重に進めていってほしいという強い要望であることから、賛成いたします。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

2番・井川佳子、私は反対の立場で討論させていただきます。

思いというのはよくわかります。ですが今、町が元気なうちにエスカレーターをつけかえるべきだと私は思っておりますので、その方向に考えていく、この予算も設計で上がってきておりますし、それを考えてまた行政のほうも考えられるんでしょうけれども、やはり元気なうちに活性化する町をつくっていただきたいと、そして補助金もあるうちに進めていくというのも、これはあります。補助金がなくてもエスカレーターをつけると町長は明言されましたけれども、やはり補助金があるうちにというのはそれは大きな丸だと思うので、できたら早

く、早く考えていただきたいので、私はこれには反対です。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

静かにしてください。

ほかにございますか。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

当然ながら、賛成の立場で討論したいと思います。

財政推計ですが、今は再建団体になりません。でも今、豊能町でもう六、七年前から子どもは100人も生まれてないんです。いずれそうになっていく、明らかですよ。今すぐじゃない。でも誰が見てもわかることです。今しないといけないのは、すぐでも定住化策を打たないと、そこにお金をかけてでも他市町村から若い人を呼んでこない、豊能町の将来は多分ありません。町レベルでは少ない予算をどこかにバランスよく分配して使わないといけません。ぎりぎりまで使えるものは使う、当然エスカレーターも使う。そしてその分を、今は他市町村からの定住化策に使う。そして若い世代を入れる。今、取り組まないともう豊能町には多くの若者は入ってこないと考えております。当然エスカレーター必要です。いずれは更新する必要があると思います。ただ慎重に考えないといけないのは、エスカレーターを更新したらエレベーターをつく可能性はかなり遠のきます。秋元議員もおっしゃられましたが、エスカレーターはベビーカーも使えません。今後高齢化が深刻になる豊能町、車いすの方も使えません。また下りはありません。ゆっくりと歩いておられます。そういったことも、6年あるんです。もっといろいろな方法を考えることができる、そういった観点から私は付帯決議に賛成としたいと思います。お願いし

ます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（少数起立 3 : 1 0）

○議長（福岡邦彬君）

起立少数であります。

よって第 1 号議会議案は否決されました。

お諮りいたします。

日程の順序を変更し、日程第 6 から日程第 9 までを先に審議したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

異議なしと認めます。

よって日程の順序を変更し、日程第 6 から日程第 9 までを先に審議することに決定いたしました。

日程第 6 「第 3 2 号議案 豊能町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

第 3 2 号議案、豊能町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて、御説明申し上げます。

本件は、平成 2 5 年 3 月 3 1 日をもって教育委員会委員のうち小川教育長が辞職することに伴い、同委員を任命するため議会の同意を求めるとでございます。

御同意をお願いします方のお名前は、石塚謙二さん。御住所は、東京都江東区越中島 1 丁目 3 番 1 6 の 5 0 8。生年月日は、

昭和 2 8 年 1 0 月 2 4 日でございます。

石塚さんは昭和 5 1 年 4 月に千葉県立養護学校教諭として採用され、その後千葉県特殊教育センター研究指導主事、千葉県教育委員会義務教育課指導主事などを経て、平成 8 年 4 月から国立特殊教育総合研究所研究室長として勤務され、平成 1 2 年 4 月からは文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官として勤務されておられます。

なお、任期は現小川教育長の残任期間となり、平成 2 5 年 4 月 1 日から平成 2 6 年 1 0 月 3 1 日までとなるものでございます。何とぞ御同意賜りますようお願い申し上げます。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

高尾靖子議員。

○1 2 番（高尾靖子君）

この方は日本の憲法を遵守する方でしょうか。それと同時に、今、小川教育長が進められてきました教育方針に沿った考え方の方でしょうか。お聞きいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

まず日本国憲法に沿ったというのは、それはちょっと私からはあれですけど、当然日本国民でありますので、そういったことではないかとは私は思っております。

それともう一つは、小川教育長の後でということですけど、それは当然ながらそのあたりの引き継ぎはやられているというふうに聞いております。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

何言いました。

○町長（田中龍一君）

申しわけございません。ちょっと間違えました。

そういった方針を引き継ぐということで聞いております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

今の教育、大変状況が、いろいろ問題も出てきておりますので、その点きちっと、憲法を守って教育基本方針、豊能町の方針を守っていただける方であればいいと思っておるんですけども、その明確な御答弁はありませんけれども、引き継ぐということには間違いはないということで、再度確認させてもらいます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

そのとおりでございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

済みません、1点だけ質疑させていただきます。

町長はどういった、私は豊能町は教育のまちとしてPRするしかないと思ってるんですが、町長はどういった教育の方針を実現するためにこの方を選任されたのかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

私も教育というのは非常に大事なものと認識しております。その中でも今、検討しております小中一貫校、こういった推進というのは進めていくことは必要だと思っております。これは例えば小1プロブレム、中1ギャップなど、こういったこともございますので、そういった意味からもこういう中1ギャップがなくなるような形、また子どもたちが適切に成長していただけるということも思っております。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

お静かに願います。

永並啓議員よろしいですか。

ほかにございますか。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

もし私の認識が足りなかったら申しわけございません。小中一貫校とかそういうのはもう町の方針で出てて、それを小川教育長から新しい教育長の方に引き継いでいただくというふうな御答弁の趣旨でございましょうか、今のは。ちょっと小中一貫校ということが、えっというふうな、ちょっとありましたのでね。もし勉強不足でしたら申しわけございませんけども、そういう方針出ましたかしら。お願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

今年度の予算でも出しております、小中一貫について検討するというふうなことになるっております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ちょっと、暫時休憩します。

(午後2時04分 休憩)

(午後2時04分 再開)

○議長(福岡邦彬君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

田中町長。

○町長(田中龍一君)

小中一貫の研究会ということで、平成25年度の予算でも計上させていただいております。

以上でございます。

○議長(福岡邦彬君)

秋元美智子議員。

○10番(秋元美智子君)

ということは、人事ですからとやかくじゃないですけど、町長の趣旨は検討してその後結論を出して一貫校いくかどうかという、小中一貫というのと一貫校というのとちょっとまた違ってきますけども、そういうふうな今の御答弁ですか。どこまでを決まって、どこから先を引き継ごうとされているのか、そのことだけちょっと明確にお願いいたします。

○議長(福岡邦彬君)

答弁を求めます。

田中町長。

(発言する者あり)

○議長(福岡邦彬君)

田中町長。

○町長(田中龍一君)

お答えします。

今、ですから小中一貫教育について検討するというので、今回、平成25年度予算で、この中で検討していくということになっております。

以上でございます。

○議長(福岡邦彬君)

ほかにございますか。

(「なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

(全員起立)

○議長(福岡邦彬君)

起立全員であります。

よって第32号議案は原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第7「第33号議案 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

田中町長。

○町長(田中龍一君)

第33号議案、豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて、御説明申し上げます。

本件は、公平委員会委員の任期が平成25年3月31日で満了することに伴い、委員の選任に際し議会の同意を求めるものでございます。

御同意をお願いいたします方のお名前は、田口数雄さん。御住所は、大阪府豊能郡豊能町希望ヶ丘4丁目1番地の10。生年月日は、昭和9年3月30日でございます。

田口さんは、大阪府職員として数々の要職を歴任され、平成4年3月に大阪府を退職され、平成9年4月から豊能町公平委員会委員に就任いただいております。このたび引き続き選任をお願いするものでございます。

なお、任期は平成29年3月31日までの4年間でございます。

御審議いただき御同意賜りますよう、お願い申し上げます。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

（多数起立 12 : 1）

○議長（福岡邦彬君）

起立多数であります。

よって、第33号議案は原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第8「第34号議案 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

第34号議案、豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて、御説明申し上げます。

本件につきましても、公平委員会委員の任期が平成25年3月31日で満了することに伴い、委員の選任に際し議会の同意を求めるものでございます。

御同意をお願いします方のお名前は、鈴木桂子さん。御住所は、大阪府豊能郡豊能町東ときわ台4丁目5番地の9。生年月日は、昭和14年4月1日でございます。

鈴木さんは、岡山市教育委員会を退職後、豊能町では社会教育委員などを経て、平成13年4月から公平委員会委員に就任していただいております、このたび引き続き選任をお願いするものでございます。

なお、任期は平成29年3月31日までの4年間でございます。

御審議いただき御同意を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第34号議案は原案のとおり同意することに決定いたしました。

日程第9「第35号議案 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

第35号議案、豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて、御説明申し上げます。

本件につきましても、公平委員会委員の任期が平成25年3月31日で満了することに伴い、委員の選任に際し議会の同意を求めるものでございます。

御同意をお願いします方のお名前は、福田正さん。御住所は、大阪府豊能郡豊能町新光風台3丁目20番地の3。生年月日は、昭和28年3月4日でございます。

福田さんは、同志社大学を御卒業後、昭

和61年4月から弁護士法人第一法律事務所の弁護士として御活躍されており、豊能町では個人情報保護審査会委員や情報公開審査会委員などにも歴任いただいております、今回新たに公平委員会委員の選任をお願いするものでございます。

なお、任期は平成29年3月31日までの4年間でございます。

御審議いただき御同意を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第35号議案は原案のとおり同意することに決定いたしました。

この際、暫時休憩いたします。

再開は午後2時30分といたします。

（午後2時12分 休憩）

（午後2時30分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第2「第28号議案 工事請負契約の締結について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

第28号議案、工事請負契約の締結につ

いて、御説明を申し上げます。

本件は、光風台大橋の耐震補強工事の請負契約の締結が、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に規定する契約であることから、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

次のページをお願いいたします。

契約の目的といたしましては、光風台大橋耐震補強工事でございます。

契約金額は、6,863万5,350円でございます。

契約の相手方は、大阪府吹田市江坂町三丁目3番1号、株式会社、紙谷工務店、代表取締役、紙谷繁夫。

契約の方法は、一般競争入札でございます。

この入札の予定価格は税込みで8,375万4,300円、最低制限価格は税込みで6,863万5,350円でございます。

入札の参加業者は2者で、うち紙谷工務店が最低制限価格で入札し落札をいたしました。落札率は81.9%で、工期は12月20日までを予定しております。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

今、工期は12月20日までということをお聞きしましたが、通行には支障がないように行われるのかどうか、お尋ねいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

工事中につきましては、吊りかごといいまして、橋にかごをかけて、その下部に耐震補強を行いますので、その装置を、道路片側、占用させていただく予定をしておりますので、工事期間中、片側通行ということが発生することがあることです。よろしくをお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

片側通行ですと、どういうんでしょうか、ガードマンですね。案内のガードマンがついて行われるということなのかどうか確認いたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

警察協議との間におきまして、交通誘導員というのは配置する計画でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第28号議案は原案のとおり可決されました。

日程第3「第29号議案 平成24年度

豊能町一般会計補正予算の件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

第29号議案、平成24年度豊能町一般会計補正予算の件について御説明を申し上げます。

本件は、国の平成24年度補正予算によりまして補助金が交付されることとなったため、本町におきましても追加して補正予算を計上するものでございます。

1ページをお願いいたします。

第1条といたしまして、既定の歳入歳出予算の総額に2億372万8,000円を増額し、65億1,070万4,000円とするものでございます。

補正の款項の区分、金額、補正後の金額は2ページ、3ページの「第1表 歳入歳出予算補正」によります。

第2条といたしまして、繰越明許費でございますが、4ページをお願いいたします。

款2・総務費のため池防災事業、款4・衛生費の上水道事業補助事業、款8・土木費の道路舗装事業、款9・消防費の緊急消防援助隊設備整備事業の4事業について、今年度内に事業を完了することができないため、いずれも事業費の全額を翌年度に繰り越すものでございます。事業の内容は後ほど歳出のところで説明を申し上げたいと思います。

次に、第3条の地方債の補正でございますが、5ページをお願いいたします。

社会資本整備総合交付金事業債810万円は、道路舗装事業に対して起債するもの、次に、緊急消防援助隊設備整備事業債1億1,390万円は、消防救急無線デジタル化事業に対し起債するもので、それぞれ限度額、起債の方法、利率、償還の方法を定めるも

のでございます。

それでは補正予算の内容につきまして歳出から説明をさせていただきます。

11ページをお願いいたします。

防災諸費の防災対策事業につきましては、吉川地区にあります上杉池のハザードマップを作成するものでございまして、補助率は100%でございます。

次に、上水道費の上水道事業補助事業につきましては、水道施設の耐震補強設計業務が国庫補助対象となり、その事業費のうち町の負担分に対し地域の元気臨時交付金が交付されることから、国の交付額の全額を水道事業会計に繰り出すものでございます。

なお交付の限度額は地方負担額の80%が原則とされております。

次に、道路舗装費の道路舗装事業につきましては、町道吉川中央線の舗装を打ちかえるものでございます。平成25年度予算に計上する予定でございましたが、前倒しをいたしまして補正するものでございます。補助率は、補助対象事業費の55%が上限とされております。

12ページをお願いいたします。

常備消防費の常備消防活動事業につきましては、消防救急無線のデジタル化事業でございます。

消防救急無線は平成28年5月末をもってアナログ式からデジタル式に全面的に切りかえられますが、このたびの国の補正予算によりまして2年前倒しをして整備することといたしたものでございます。補助率は補助基本額の2分の1でございます。

歳出については以上でございます。

次に歳入について説明をさせていただきます。

9ページをお願いいたします。

衛生費国庫補助金は、水道施設の耐震化

設計業務の町負担に対して交付される地域の元気臨時交付金でございます。土木費国庫補助金は、道路舗装事業に対して交付される社会資本整備総合交付金でございます。消防費国庫補助金は、消防救急無線デジタル化に対して交付される緊急消防援助隊設備整備費国庫補助金でございます。

次に、総務費府補助金は、上杉池のハザードマップの作成に対しまして国から大阪府を通じて交付されるもので、ため池防災事業府補助金でございます。

次に、財政調整基金の繰り入れでございますが、今回の補正の町負担分を基金から繰り入れるものでございます。

次に10ページをお願いいたします。

町債は5ページの「第3表 地方債補正」で申し上げたとおりでございます。

説明は以上でございます。よろしく願いをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

1点、質疑させていただきます。

11ページの防災諸費の防災対策事業、具体的には上杉池のハザードマップをつくるということなんですけど、この業務委託の300万円、具体的にどのようなことを委託されて、ハザードマップ、どのあたりまでつくるって変な言い方ですけども、その委託の内容をお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

吉川地区のハザードマップにつきましては、上杉池が決壊したときに池の水が最終的には妙見口の駅前を通過して平井川あるいは初谷川の合流点のほうに流れるというふ

うに予想されておりまして、もしも起きたときには、今、地図上でいきますと約11ヘクタールぐらいが被害に遭うことに、大なり小なりの被害があるということでございまして、その被害想定状況をハザードマップとしてつくるということで、業者にその被害を想定する委託をさせていただきたいというふうに思っているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

そうすると地図上に、大体このあたりにはこういう被害が起きるんじゃないかというふうな、そういった、私がちょっと質疑させていただいたのは、調査なのか設計なのか、そのあたりの委託する内容がもうひとつわからないんです。おつくりになりたいということとはわかります。対応したいということもわかるんですけど、この委託の内容がちょっとよくわからないものですから、設計なのかそれとも調査なのか、そのあたりでお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

吉川の上杉池が崩壊したときにどういうふうな水の流れて被害を及ぼしていくかというような状況を把握するというような委託を、被害状況、例えばここではこの家が危ないとか、そんなったときにはどういうふうに順次水が流れていくとか、いうような形でハザードマップをつくっていくという計画でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

この完成したハザードマップですけど、これは吉川の地域の住民たちに周知徹底あるいは何らかの形でお知らせしていくというふうな、そういうお考えがあるのかどうかということと、またここにその経費も入っているのかどうか、この2点お尋ねいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

この事業につきましては大阪府とタイアップしておりまして、上杉池の耐震診断は大阪府が700万円をかけてやる予定をしております。それで私どもがハザードマップをつくりまして、大阪府は耐震診断でどの部分が弱いと、それによって改修をしなければならぬとか、そういう方針を出されるというふうに思っております。我々はハザードマップをつくりまして、当然吉川の地域の方々に説明をして、こういう状況になるというようなことは十分説明を今後してまいるというようなことになって、大阪府とともに改修も含めて連携してやっていくことになるというふうに理解をしております。よろしく申し上げます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

12ページの消防費ですね。これは1億7,400万円余りの金額でございすけれども、これは内容を聞きますと主に消防の通信のデジタル化ということ聞いております。これは多分今回の国の補正予算の関係で、その半分ぐらいは補助金としていただけまんのかな。そういうことを聞いておりますけれども、今回のこの補正予算、全体にわたって国の今回の平成24年度の補正

予算は220兆円ぐらい補正予算を組んでますね。

○議長（福岡邦彬君）

川上議員、何ぼって、ちょっと聞こえなかったんですけど。

○14番（川上 勲君）

220兆円。

○議長（福岡邦彬君）

桁が間違ってるのと違いますか。

○14番（川上 勲君）

22兆円、ごめんなさい、ごめんなさい、22兆円。それでこの補正予算は緊急経済対策ということが含まれておりまして、例えば小中学校の環境整備、いわゆる耐震診断、耐震化ですね。それから通学路の安全対策、あるいは問題になっておりますエスカレーター、これも建設課によりますと道路の一部やということであれば、この補正予算十分に対応できると思いますけれども、わずか2億円余りの補正予算組まんと、もっと国の補正予算を活用して、もうちょっとどころかもっと、もっと補正予算組めるんじゃないかというぐあいに思いますねんけども、その辺はどないでっか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

国の経済対策の一環で補正予算が組まれたわけでございますけれども、豊能町の場合も去年の暮れから1月の初めにかけて、今回はそれぞれの原課に、そういう補正の情報が出るから十分注意をしておいてほしいということで、再三にわたって各原課にお願いをしてきて、また原課は原課でどういうものが対象になるかということで大阪府等に協議をしに行ったところもありますし、電話等で伺ったところもございますけれども、今現在我々の体制としましては、

これだけの金額の補正予算しか該当するものが一応なかったというふうに我々としては認識をしているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

それは事務的にいろいろ制約はあると思います。ただし、例えば小学校の耐震化あるいは例えばプールも一緒やけども、設計施工という考え方もあるわけですね。設計だけではあかんと。それは補正予算に乗らへんということもあるけども、設計施工にしたら乗ることもあるんですね。その辺をやっぱり、事務的な大阪府との対応もこれは絶対に必要やけども、それ以上にやっぱり政治的に動くことも必要や思いますねん。こうなるとやっぱり町長が動かんとできないと思いますわ。

例えば隣のまちの箕面市なんか、1年間の予算が300億円ちょっとにもかかわらず、70億円近い補正予算を組んでるわけですね。その内容によりますと、ほとんど国の緊急対策、経済対策を取り入れてやっている事業がたくさんあるわけですね。そう考えるとやっぱりこれ町長、町長の政治的な動きをやっぱりしてもうて、ちょっとでもあなたが考えておられる国の補助金とか国の交付金とか利用してすると、立候補のときから言っておられましたので、その動きをやっぱりしてもらわなあかんけど、どういうぐあいに動かれたのかお聞きしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

ただいま出ておりましたような箕面市で

ありますとか茨木市でありますとか、そういったところで直接首長からも話を聞いて、そういった情報も入れながらやってまいったところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

いや、情報を入れるとか、それは豊能町の各部局で情報入ってるはずなんですわな。政治的に動くということは、やっぱり選出されてる府議会議員もいてる、国会議員もいてる、そういう人を動かして国に対して言うていくのが政治的な動きと私は思ってるんけども、そういう認識は町長にはありませんのか。隣まちの市長やその人に尋ねても、我がとこでもう手いっぱいやねん、我がとこでどれだけもらうかそれで手いっぱい、なかなかそれは情報は得にくいやろうし、情報は町の各部局に入ってくるのやから、肝心の政治的な動きをやっぱりせんことには、こんなもん入ってくるはずはありませんわ。あなたがおっしゃってることは、言うてることとしてることが全然整合性が合わないんですわ。政治的な動きはそういう、府議会議員とか国会議員とかを、言葉は悪いけど利用してするのが政治的な動きですわ。私も自民党に関係ある、公明党の人もいてる、民主党の人もいてる、この議員の中にね。そういう人も利用して動かんとあかんわけですわ。それどないでんの、町長。もうこれ3回目、あとできひんけど。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

知り合いの国会議員に話したりは、ど

ういった情報があるかというのはしたりは当然いたしました。それとあと、やはり直接的に、やはり我が市としてどういったものを、やっぱり近隣市町村の情報を得るといっても、これは非常に大きな話だと思われましたので、直接市長を通じていろいろな部署も紹介していただいて、そういったところから直接やりとりもさせてもらったりとかもさせてもらいましたし、私個人でもできるだけ情報網を広げて、あることは担当者に申し述べるなど、私なりに努力は今回してまいったところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第29号議案は原案のとおり可決されました。

日程第4「第30号議案 平成24年度豊能町水道事業会計補正予算の件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

それでは、第30号議案、平成24年度豊能町水道事業会計補正予算の件について御説明申し上げます。

今回の補正は、当初、平成25年度に実施する予定にしておりましたが、国の大型補正予算成立に伴い、東ときわ台高区配水池耐震補強実施設計事業が水道施設整備費補助金として平成24年度補助事業に採択されたことと、地域の元気臨時交付金の積算基礎に算入されたため、その算入額を一般会計から繰り入れていただくものと、国庫補助金を財源として実施するものでございます。

それでは、補正予算書の1ページをお開き願います。

第1条で、平成24年度豊能町水道事業会計の補正予算は、次に定めるところによるものでございます。

第2条で、予算第4条で定めました資本的収入及び支出の本文括弧書き中、「不足する額1億1,967万2,000円」を、「不足する額1億2,106万2,000円」に、「過年度損益勘定留保資金1億1,671万5,000円」を「過年度損益勘定留保資金1億1,810万5,000円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を補正するものでございます。

まず資本的収入は260万円増額し、1億31万7,000円にするものでございます。内訳は、他会計繰入金は160万円、これは地域の元気臨時交付金分でございます。国庫補助金は100万円でございます。

2ページをお開き願います。資本的支出は399万円増額し、2億2,137万9,000円にするものでございます。内訳は建設改良費でございます。内容としまして、東ときわ台高区配水池耐震補強実施設計業務でございます。

以下、補正予算書の実施計画以降の説明は省略させていただきます。

以上でございます。どうかよろしく御審議の上御決定いただきますようお願い申し

上げます。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

これも今回の国の緊急経済対策の一環や思いまんねん。町長さっきの答弁、私なりにやったおっしゃいましたけども、国のほうにあなたの声が届かんとあかんわけですわ、国のほうに。何ぼ近隣の市のことを研究したり聞いたりしても、国へ届かんかったらその役にも立ちまへんのや。そうでっしゃろ。そういう動きはされたのかされてないのか、はっきりと答えてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

これはやはり補助金を受け取るに当たりましては、やっぱりさまざまな条件がございます。そういった条件も含めて考えていかなければいけない問題あります。ですから国に届いたかどうかにつきましては、この9区の国会議員の方ともその相談はしております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

例えば吉川小学校の耐震診断、今まさにどこか高区の配水池の耐震診断、できてまんがな。小学校できまへんのか。条件がおまんのか。箕面市なんかこれごっついことやってまっせ。それは箕面市の市長とあなたと行政手腕、それははっきり言ったら月とすっぽんぐらいちゃうと思うけど、そやけどもそういう努力をしてもらわないかんに、ただいまの答弁で、1回目の答弁とさ

っきの答弁と何か意味合いがちょっと違ってきたけど、そういうことをやっぱり初めから一貫性した答弁をきっちり、したんやったらした、してへんやったらしてへんと、9区の国会議員に、実際それ国へこういう形だから言うてくれと、それもやっぱり担当の人を連れて資料を持っていかなあきまへんわな。あなた一人行っても何言うてるのかわかんかったら、国会議員かてそんな言えることありまへんわな、国のほうに。担当の職員を連れて行って、それでこれが資料ですという資料を持って、それが政治的な動きなんですわ。そういうことをされたんかいと聞いてまんのや。

○議長（福岡邦彬君）

川上議員に申し上げます。今の月とすっぽんというのはちょっと取り消していただけませんか。

○14番（川上 勲君）

取り消しますわ。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

要はどういった補助金があるのかと、そういう情報をくださいという話はしております。ただ、先ほど例にありましたような、箕面市長でありますとか、ほかのところで当然どういったものをもって、どういったことをしてるのかということについては、それは私なりに情報は仕入れてそれぞれ担当者にはお伝えしたところでございます。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

田中町長、してるかしてないかについてだけお答え願いますか。再度。

○町長（田中龍一君）

図面をもってするということまではしておりません。ただ、どういった補助金があるのかということについては聞いたというところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

そのどういったものがあるのは担当のほうへ大阪府からきてまんがな、そんなものは。それに基づいて、図面ちゃうやん資料、補助金のどんな補助金がある、うちにはこういうものがあるからこれに対して補助金、交付金つけてくれという資料を持って行って、それで国会議員が動く、府議会議員が動く、あなたが動くと、これで国のほうに、通るか通らんかは別として、通る形になるわけですわ。何ぼ研究して何かて、外に出ていけへんかったら、また言葉は悪いけどもくその役にも立たん。ほんまに。伝わりまへんがな、それは。そうでっしゃろ。そういう動きをしたんか、してへんのんかっていうて聞いているから、したんやったらした、してへんかったらしてへんと、それでええのちやいまんのか。変な言葉じり、いろいろなもんつけてもらわんでも結構ですわ。

○議長（福岡邦彬君）

川上議員に申し上げます。くその役に立たんもちょっと不適切な言葉ですので取り消していただけますか。

○14番（川上 勲君）

それは答えへんからやな。

○議長（福岡邦彬君）

取り消していただけますか、その文言について。

○14番（川上 勲君）

やわらかく言いますわ。

いろいろ隣の情報を聞いたら、例えば豊

中市なんかは30万、40万規模の人口やけども、今回のこの補助金20億円ぐらいしか入ってないということも聞いてまんねや。箕面市は12、13万の人口でっか、これが合計70億円ぐらいの金額になってまんねん。もちろんこれは起債もあるし単費も出さなあかんけどね。しかし今回は取り入れることによって豊能町が活性化するわけですわ。そういう意味も含めてあなたはやっぱり、担当部局の動きだけじゃなしに、あなたはやっぱり政治的な動きをして、大阪府なり国なりに要望していくと、これがあなたの役目なんですわ。ひとつ例を挙げると今はそんなんないと思いますけども、昔は小さなまちの村長なり町長は地元におらんと東京に入り浸りで補助金や交付金とってきたという話もあるわけですわ。あなたが豊能町で補助金対象にエスカレーターを新しくする。ユーベルホールも大改修すると、当然これ箕面市の例から挙げると補助金つくわけですわ。そやから国のほうにそういう要望をしていったんかと、政治的な動きでしていったんかって聞いてますから、それでお答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

先ほど申しましたように、そういった動きはしておりません。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第30号議案は原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。

本日の会議は、これで延会したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議あり」の声あり）

（「異議なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

暫時休憩し、全員協議会を開きます。

（午後3時05分 休憩）

（午後4時52分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りいたします。

本日の会議は、これで延会したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

異議なしと認めます。

よって本日はこれで延会することに決定いたしました。

本日はこれで延会いたします。

次回は3月29日午後1時より会議を開きます。

本日はどうも長時間御苦労さんでした。

延会 午後4時53分

本日の会議に付された事件は次のとおりである。

- 第20号議案 平成25年度豊能町一般会計予算の件
- 第21号議案 平成25年度豊能町国民健康保険特別会計事業勘定予算の件
- 第22号議案 平成25年度豊能町国民健康保険特別会計診療所施設勘定予算の件
- 第23号議案 平成25年度豊能町後期高齢者医療特別会計予算の件
- 第24号議案 平成25年度豊能町介護保険特別会計事業勘定予算の件
- 第25号議案 平成25年度豊能町下水道事業特別会計予算の件
- 第26号議案 平成25年度豊能町生活排水処理事業特別会計予算の件
- 第27号議案 平成25年度豊能町水道事業会計予算の件
- 第28号議案 工事請負契約の締結について
- 第29号議案 平成24年度豊能町一般会計補正予算の件
- 第30号議案 平成24年度豊能町水道事業会計補正予算の件
- 第32号議案 豊能町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 第33号議案 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 第34号議案 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 第35号議案 豊能町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 第1号議会議案 第20号議案平成25年度豊能町一般会計予算の件に対する付帯決議

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

平成 年 月 日署名

豊能町議会 議長

署名議員 11番

同 12番